

2025年度 事業報告書 別紙

自 2025年4月1日
至 2026年3月31日

2026年5月22日
一般社団法人 日本自動車車体工業会

	ページ		ページ
1. 2025年度事業報告概要	1	4. 部会活動報告	4 3
2. 会員状況	5	・特装部会	4 4
2-1. 会員数	6	特装部会分科会	4 5
2-2. 会員売上高2025年度調査（2024年度決算）	7	・特種部会	4 6
2-3. 2025年度主要車種の生産状況	8	・トラック部会	4 7
2-4. 生産状況の10年間の推移	9	・バン部会	4 8
3. 本部活動実績	1 2	・トレーラ部会	4 9
3-1. 2025年度通常総会、理事会の開催	1 3	・バス部会	5 0
3-2. 委員会活動報告	2 3	・小型部会	5 1
・C N専門委員会	2 4	・資材部会	5 2
・中央技術委員会	2 5	部会会員数	5 3
・環境委員会	2 6	5. 支部活動報告	5 4
・中央業務委員会、中小会員ネットワーク強化WG、 安全衛生活動WG、現地現物による技能系社員研修	2 7	5-1. 支部活動まとめ	5 5
・広報委員会、商用車ショー企画委員会	2 8	5-2. 支部活動実績一覧	5 6
3-3. 事務局業務報告	2 9		
1) 会員会社に対する各種有用施策の調査、情報提供			
(1) 2024 年度法規関係情報一覧	3 0		
(2) 経済産業省・厚生労働省からの展開項目一覧	4 1		
(3) 黄綬褒章	4 2		
(4) 安全優良職長厚生労働大臣顕彰 受賞	4 2		

1. 2025年度事業報告

<取り巻く環境>

= 世界経済 =

- ・米国・イスラエルによるイラン攻撃等の**地政学リスク**やトランプ関税に代表される**通商リスク**が**常態化**する中、**AI等の技術革新**もあり、世界経済は「**緩やかな回復 × 高い不確実性**」という局面
- ・2025年の世界経済成長率は、2024年からほぼ横ばいの見通し。「貿易政策の逆風」と「AI・技術投資による追い風」が相殺し、表面的には**安定成長**と評されている

= 日本経済 =

- ・2025年の日本経済は、名目賃金の高い伸び、金融緩和からの本格的な正常化が同時に進み、長年のデフレ体質からの構造変化がより明確になった一方で、GDPは1%前後と低成長。加えて人口減少、低生産性、社会保障費拡大等の構造課題が際立つ1年となった。
更に、中近東情勢の緊迫化等地**政学リスク**により**先行き不透明な状態が続いている**

= 国内商用車市場 =

- ・2025年度の国内新車販売台数は、4,534千台（前年度比99.1%）と、4年ぶりの前年割れ
- ・**国内商用車販売**（貨物車＋大型バス）は、370千台（同107%）と**2年ぶりの前年超え**、**大中型貨物車**は、シャシー供給の回復等もあり、76.2千台（同102%）と**3年連続の前年超え**

1-1. 2025年度事業報告 概要

= 商用車市場内のポイント =

- ① **国内貨物自動車輸送量**（NX総研見通し）：2025年度 **3,651百万トン**（前年度比**97.5%**）
- ② **貨物車(小型+普通)保有台数**（2025年12月末）： **5,949千台**（前年度比**0.1%**微増で推移）
- ③ **普通貨物車平均使用年数**（2025年度）： **18.15年**（対前年**▲0.17年**）
- ④ **運送事業者の景況感**：輸送量の減少、労働力不足などマイナス要因があったものの、補助金拡充による燃料調達価格の下落、運賃料金水準の改善基調を反映し、営業利益、経常利益が改善傾向に転じたことを背景に、景況感は**小幅改善**
（全日本トラック協会2026年2月16日公表値より）
- ⑤ **2024年問題**：懸念された「全国的な物流の大混乱」は回避された一方で、地域・業種・時期による輸送の詰まりや調整負担が顕在化。労働時間短縮・運賃是正は一定進展したが、**輸送力不足・人手不足・荷待ち問題は依然深刻**。
- ⑥ **法令順守**：認証不正（型式認証・整備・保険）問題の社会的影響、高齢化・物流問題、2024年問題、車両のソフトウェア化・コネクテッド化、排出ガス・脱炭素規制の段階的強化等を背景に、2025年は「不正防止・安全・デジタル・脱炭素」を軸に、**法令順守が「経営課題」へ格上げされた年**となった

1-1. 2025年度事業報告 概要

<当会会員生産台数>

- ・2025年度生産実績：合計224万台（前年度比103%）と4年連続で前年度超え
- ・当会特有の**非量産車：154千台（同100.1%）と3年連続の前年度超え**
- ・部会別：特装同97.7%、特種118%、トラック104%、バン96.2%、トレーラ107%、バス108%

<会員状況（2026年3月末時点）>

- ・**正会員数：220社**（前年度比3社増加、新入会5社、退会2社）
- ・**準会員：108社**（前年度比1社増加、新入会5社、退会4社）
- ・総会員数：328社（前年度比4社増加）
- ・**会員売上高調査（2024年度決算）**
正会員全体では7兆1,680億円（前年度比102%）、非量産会社の車体部門売上は**8,200億円（同117%）と2年連続の増収**
- ・会員景況指数（増収会社率－減収会社率）：2024年度は前年度比3.9悪化し、+32.4

<2025年度事業実績>

- ・当会活動指針「自動車車体産業の発達、産業経済の発展と国民生活向上に寄与」のもと、CNや安全、環境、コンプライアンス等社会との関わり、及び会員支援に資する以下6項目を取組み
1)カーボンニュートラル（CN） 2)安全への取組み 3)環境への取組み
4)中小企業支援活動 5)活性化活動 6)ガバナンス強化・業務効率化
- ・事業者団体活動が独占禁止法に抵触するリスクを包含するとの公正取引委員会指摘の中、**コンプライアンスマニュアルの作成・展開**

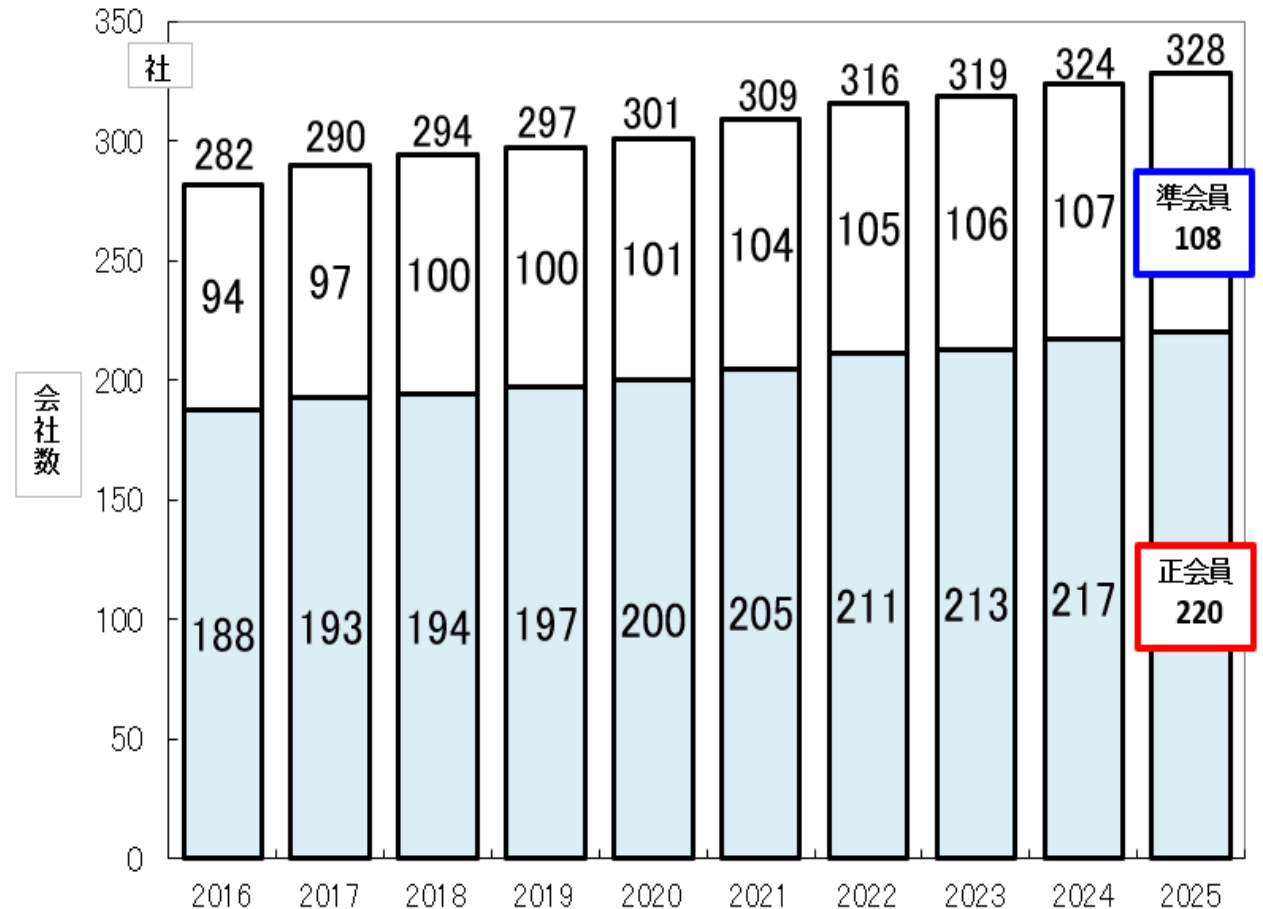
2. 会員状況

2.会員状況「2-1.会員数」

25年度増減

区分	25年度増減		25年度末
	入会	退会	
正会員	5社 7月 (株)吉谷機械製作所 7月 (株)ナツツ 10月 マルマテクニカ(株) 協和自工(株) 房総車体(有)	2社 光源舎オートプロ ダクツ(株) (株)エフテック	220社
準会員	5社 7月 (株)ミラージャパン 7月 モビリティエナジー サークュレーション(株) 10月 安全自動車(株) 10月 (株)ノルメカエイシア 3月 Hyundai Mobility Japan(株)	4社 日本ピストンリング(株) ZFジャパン(株) 日本特殊塗料(株) リリカラ(株)	108社
合計	10社	6社	328社

過去10年の推移

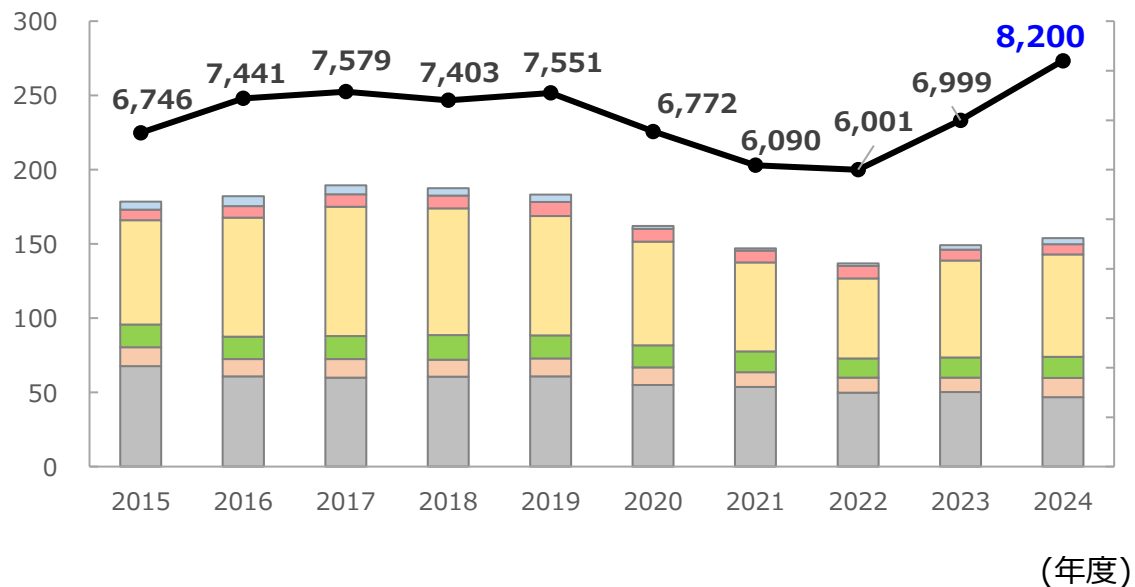


2. 会員状況「2-2. 売上高・従業員数(24年度)」

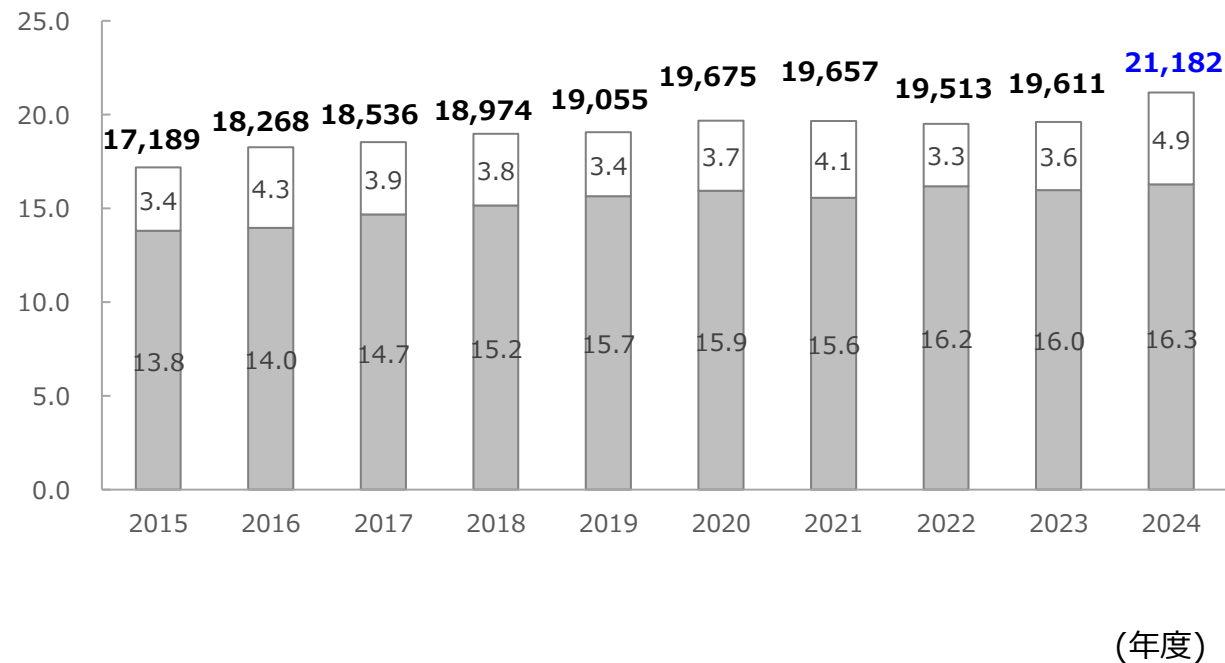
◆ 会員全体

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
調査会社数	186	188	195	195	198	202	209	211	212	217
売上高(億円)	54,437	57,166	57,927	61,087	64,457	63,136	50,285	56,861	67,637	71,680
生産台数(台)	2,178,644	2,208,784	2,168,032	2,235,938	2,211,598	2,071,776	1,837,380	1,880,206	2,145,384	2,172,916
従業員数(名)	52,523	54,492	54,676	58,803	61,022	59,776	59,998	59,512	70,139	72,017

◆ 非量産車製造会社 売上高と生産台数



従業員数 (千名)



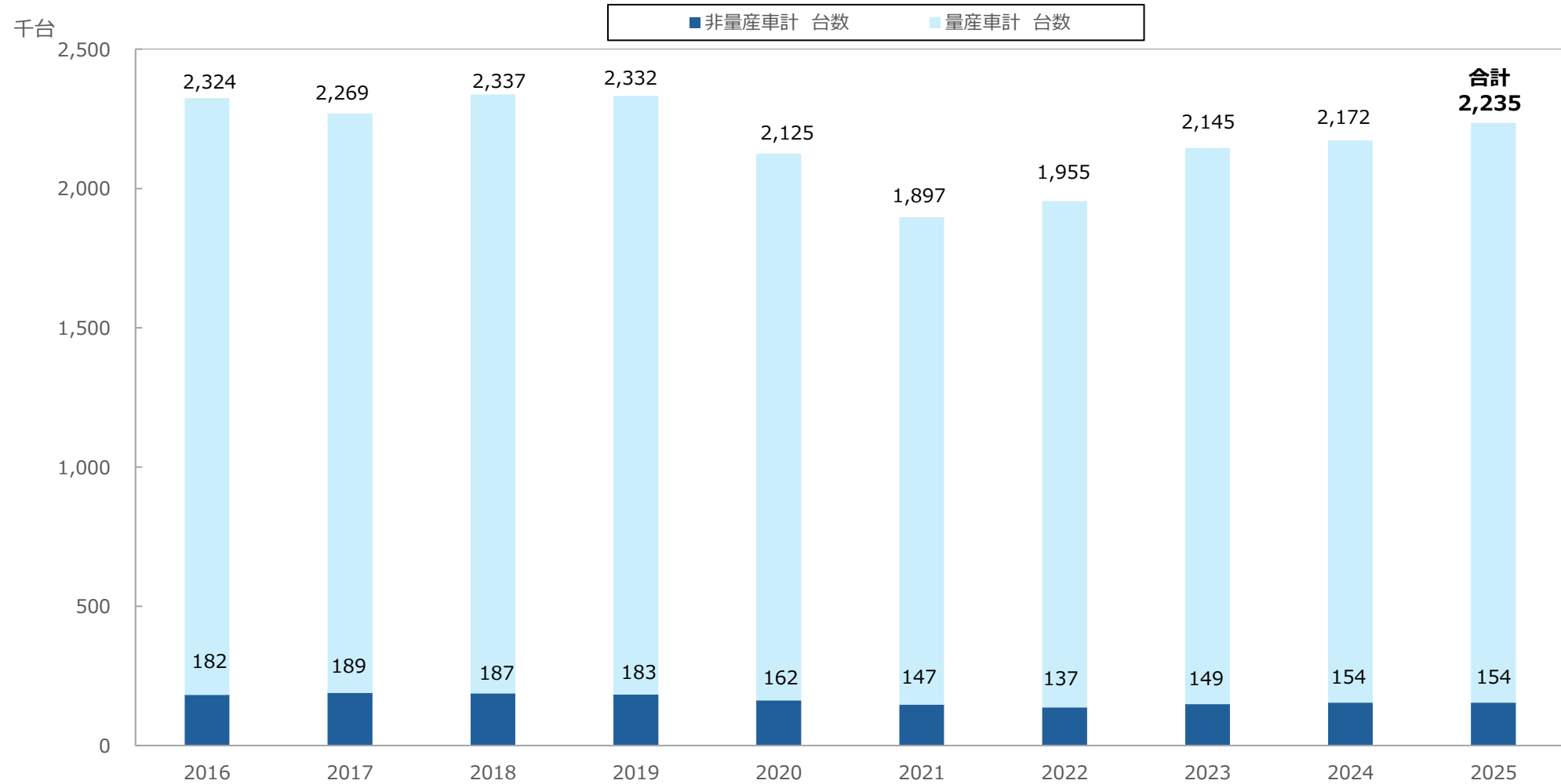
2.会員状況「2-3.2025年度主要車種の生産状況」

		台数		
		累計	前年同月比 累計	
全体	国内	1,078,287	107.4%	
	輸出	1,157,052	99.0%	
	合計	2,235,339	102.9%	
非量産車 (*印の車両)	国内	148,765	100.6%	
	輸出	5,379	86.6%	
	合計	154,144	100.1%	
* 特装	国内	輸送系車両	27,778	97.6%
		作業系・その他車両	12,827	102.6%
	小計	40,605	99.1%	
	輸出	5,215	88.3%	
	合計	45,820	97.7%	
* 特種	国内	量産系	8,328	109.7%
		非量産系	6,784	133.2%
		小計	15,112	119.1%
	輸出	164	53.8%	
	合計	15,276	117.6%	
平ボデー トラック	国内	標準型 (シャシメーカー標準)	10,268	106.6%
		* 大型	4,571	97.5%
		* 中型	4,229	109.5%
		* 小型・軽	5,654	100.2%
		* 小計	14,454	101.9%
		合計	24,722	103.8%

			台数	
			累計	前年同月比 累計
* バン	国内	大型	20,261	102.2%
		中型	21,566	97.4%
		小型・軽	24,422	90.8%
	合計	66,249	96.2%	
* トレーラ	国内	コンテナ	2,071	102.4%
		バン	2,665	124.7%
		平床	1,363	93.4%
	その他	1,402	102.6%	
合計	7,501	107.4%		
バス	国内	* 路線	2,743	116.0%
		* 観光	1,658	124.8%
		* 自家用	443	99.1%
		* 非量産小計	4,844	117.0%
		その他	5,680	78.4%
	小計	10,524	92.4%	
	輸出	87,465	110.0%	
	合計	97,989	107.8%	
乗用 小型商用 軽	国内	913,574	108.8%	
	輸出	1,064,208	98.3%	
	合計	1,977,782	102.9%	

2.会員状況「2-4.生産状況の10年間の推移」

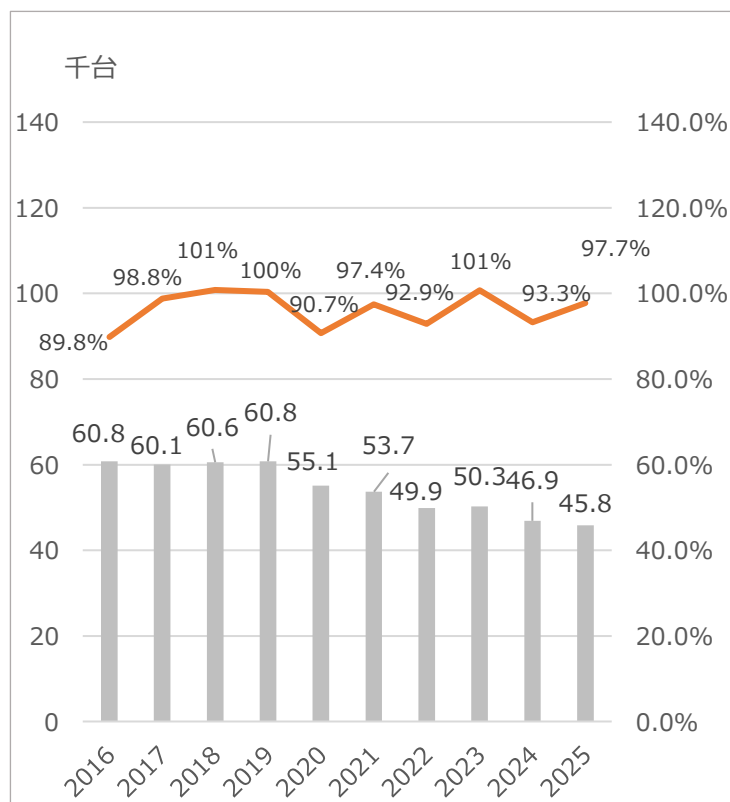
全会員生産台数



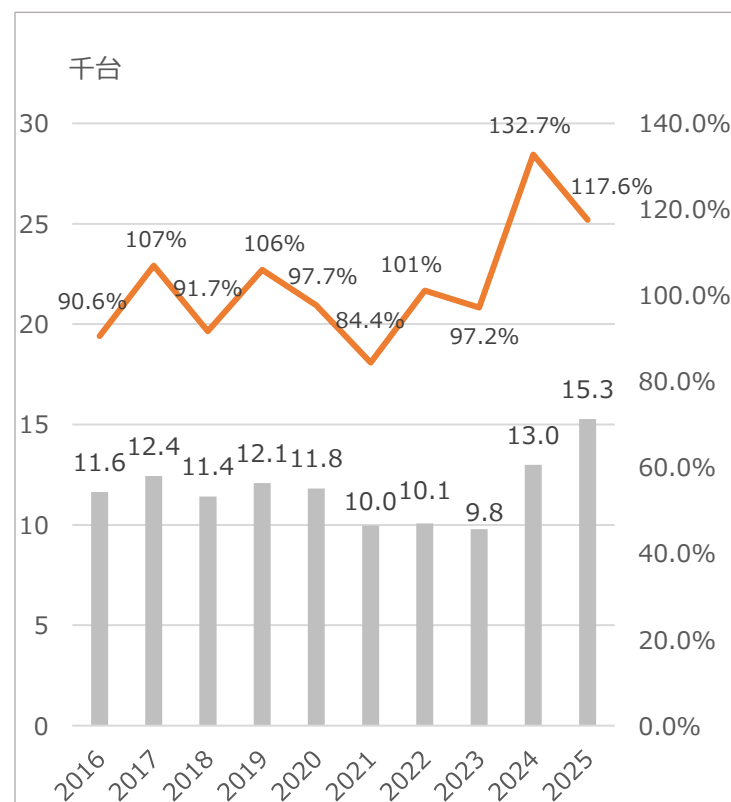
2.会員状況「2-4.生産状況の10年間の推移」

◆非量産車種別生産台数

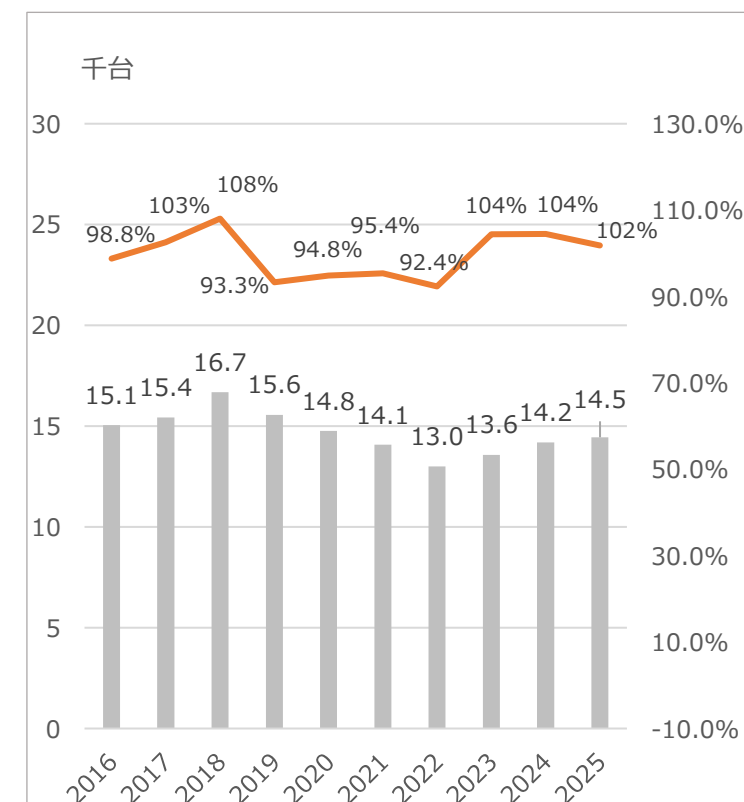
特装車



特種車



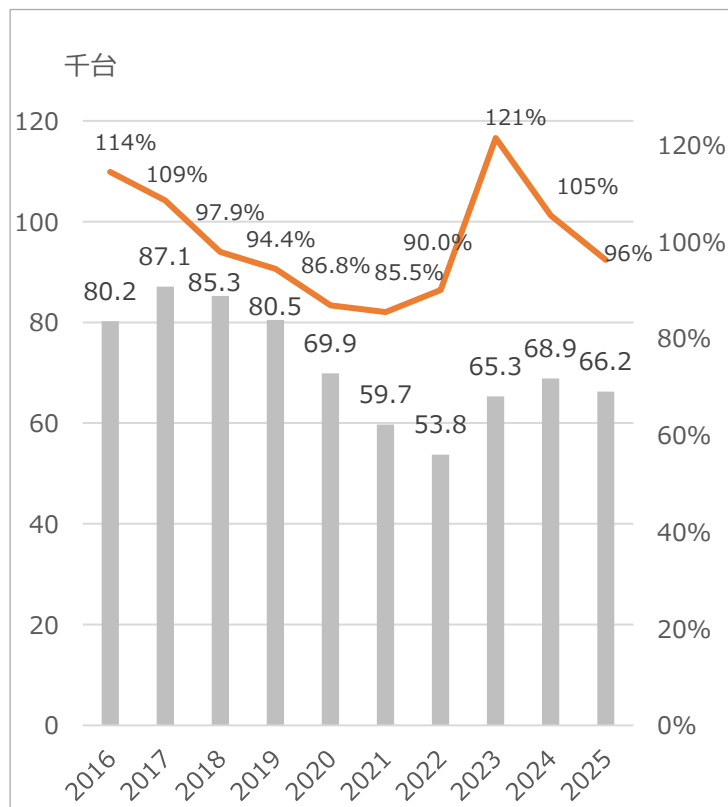
平ボデートラック



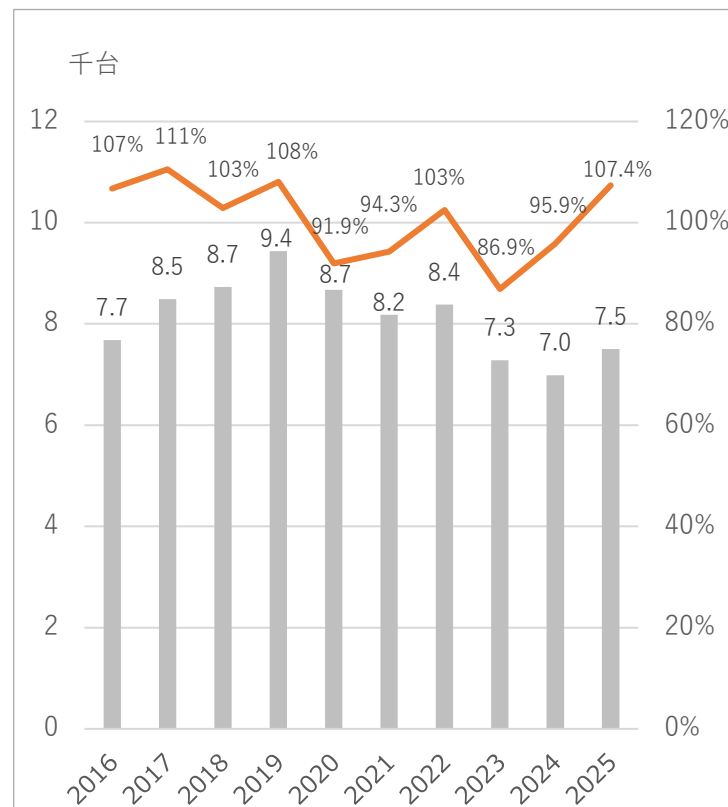
2.会員状況「2-4.生産状況の10年間の推移」

◆非量産車種別生産台数

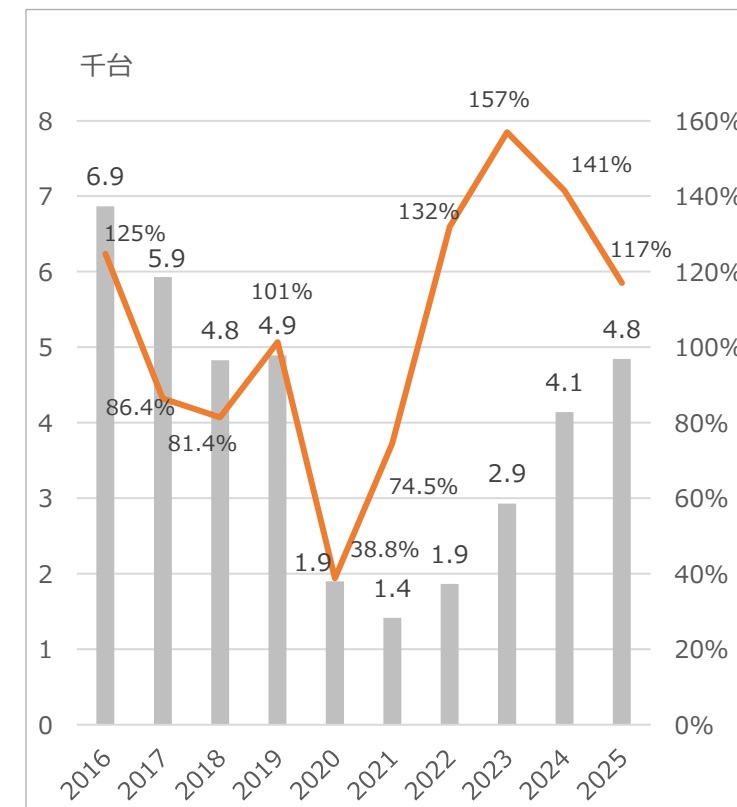
バン



トレーラ



バス(大型・中型)



3. 本部活動報告

3-1 通常総会、理事会の開催

3-1 通常総会、理事会の開催

1) 2025年度通常総会

日 時 2025年5月23日（金） 15:30～16:00

場 所 グランドプリンスホテル高輪「プリンスルーム」+ W e b 会議

出席者数 会場での出席会員 102社
委任状による出席会員 90社
計 192社

(1) 議 事

- 第1号議案 2024年度事業報告の件
 - 第2号議案 2024年度決算報告の件
 - 第3号議案 2025年度事業計画案の件
 - 第4号議案 2025年度収支予算案の件
 - 第5号議案 2025-2026年度理事選任の件
- 全ての議案は、原案通り承認された

3-1 通常総会、理事会の開催

(2) 表彰

① 退任理事

氏名	会社名	会社役職(総会開催時点)
増井 敬二 様	トヨタ車体(株)	代表取締役会長
大久保 淳 様	カヤバ(株)	常務執行役員 営業本部長
中条 充啓 様	(株)東洋ボデー	代表取締役社長
濱口 昌史 様	トヨタ自動車東日本(株)	取締役
小澤 賢記 様	ゴールドキング(株)	取締役社長
久保 航一 様	(株)昭和	取締役会長
上野 聡 様	北海道車体(株)	生産開発本部 上席本部長
景井 啓之 様	(株)東海特装車	シニア・エグゼクティブアドバイザー
瀬川 昌也 様	共立工業(株)	代表取締役
宮幸 朗 様	自動車精工(株)	取締役会長

3-1 通常総会、理事会の開催

②車体工業会功労者

氏名	部会・委員会	会社名	会社役職
小坂 浩二	特種部会 技術委員会	(株)トヨタシステムズ & ティハ・ロップメント	生産本部 カスタマーファースト部 品質保証室
肥田 巴	バス部会技術委員会 ワンマン機器小委員会	ジェイ・バス(株)	宇都宮受注設計部 電装グループ グループリーダー
梶ヶ谷 正美	環境委員会 工場環境分科会 分析WG	トヨタ自動車東日本(株)	PE・環境部 環境G GM
岸 正道	環境委員会 工場環境分科会 分析WG	東邦車輛(株)	生産技術部 部長
吉村 友和	トレーラ部会 サービス委員会	日本フルハーフ(株)	サービス部 マテリアル&トレーニンググループ
時田 宗一	トレーラ部会 サービス委員会	東邦車輛(株)	サービス事業本部 サービス部技術課
水野 貴弘	バス部会技術委員会 ワンマン機器小委員会	ジェイ・バス(株)	小松製品企画・開発設計部 先行・実験グループ グループリーダー
松田 謙三	バス部会技術委員会 ワンマン機器小委員会	三菱ふそうバス製造(株)	バス技術部 特仕設計 マネージャー
瀬戸 貞弘	資材部会 第一分科会	SUMINOE(株)	車両資材事業部門 執行役員

③優良従業員表彰

氏名	会社名	会社役職(総会開催時点)
常盤 博之	東京特殊車体(株)	経営戦略室 次長
炭本 孝二	須河車体(株)	第一製造部 車体生産第一グループ マネージャー
石原 茂	(株)レゾナント・システムズ	技術部サービス課 シニアエキスパート

3-1 通常総会、理事会の開催

④永年在籍会員表彰

	正会員	準会員
70年 [1社]	(株)信濃車体製作所	
60年 [2社]	高田工業(株)、日本トレクス(株)	
50年 [4社]	三久自動車工業(株)、仙台鈴木自動車工業(株)、 名空自動車(株)	市岡(株)
40年 [6社]	(株)シンセイ、(有)橋自動車工業所、 (株)花見台自動車、(有)原自動車ボデー工業、 和光工業(株)	シーカ・ジャパン(株)
30年 [3社]	(有)糟谷製作所、昭和車体工業(株)	(株)シー・エス・シー
20年 [6社]	(株)協和機械製作所、(株)互幸産業、 白川鉄工(株)、(株)多摩特装サービス	(株)エクシング、(株)パトライト
10年 [1社]		パーソルクロステクノロジー(株)

3-1 通常総会、理事会の開催

2) 理事会の開催

開催回 (日時)	議題
# 281 (5月9日)	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none">第1号議案 2024年度事業実績 及び 2025年度事業計画 に関する件第2号議案 2024年度決算結果 及び 2025年度予算案 に関する件第3号議案 2025-2026年度理事・監事選任に関する件 <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none">1. ジャパンモビリティショー2025出展について2. 7月理事会メンバー見学会について3. 総会後の本部事務局体制4. その他報告事項<ul style="list-style-type: none">4-1. 2025年度本部委員会・関係団体派遣委員体制 (書面回付)4-2. 会員のリコール等重大不具合結果 (書面回付)4-3. 車体NEWS執筆依頼 (書面回付)4-4. 国内商用車販売状況 (書面回付)4-5. 官公庁情報 (書面回付)

3-1 通常総会、理事会の開催

開催回（日時）	議題
<p># 282 (7月17日)</p>	<p>審議事項 第1号議案 新入会 に関する件</p> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 本部・部会・支部別 事業計画1/4期実績2. 1/4期 収支実績まとめ3. ジャパンモビリティショー2025展示について4. 会員各社による独禁法対応に向けた活動について5. その他報告事項<ol style="list-style-type: none">5-1. 通常総会結果報告5-2. 秋季会員大会について5-3. 新団体保険の事業性目途付けについて（風水害・サイバー・GLTD）5-4. 商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況自工会への提出について（書面回付）5-5. 海外視察申込み状況（書面回付）5-6. 最近の商用車販売及び会員生産台数（書面回付）5-7. 最近の官公庁情報（書面回付）

3-1 通常総会、理事会の開催

開催回（日時）	議題
# 283 (10月31日)	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none">第1号議案 新入会 に関する件第2号議案 臨時総会（理事選任に関する件） [書面審議] に関する件 <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none">1. 本部・部会・支部別 事業計画2/4期実績2. 2/4期 収支実績まとめ3. その他報告事項<ul style="list-style-type: none">3-1. 2026年自動車工業団体賀詞交歓会のご案内3-2. CO₂・VOC排出量フォローアップ結果（書面回付）3-3. 会員原簿調査結果（書面回付）3-4. PL+新3保険加入状況（書面回付）3-5. 最近の商用車販売及び会員生産台数（書面回付）3-6. 最近の官公庁情報（書面回付）

3-1 通常総会、理事会の開催

開催回 (日時)	議題
# 284 (1月22日)	<p>審議事項 第1号議案 競争法対応マニュアル策定について</p> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 公取委&中企庁からの申し入れ (取適法遵守) について2. 本部・部会・支部別 事業計画3/4期実績3. 3/4期 収支実績まとめ4. 2025年度海外視察(中国CCVS)結果報告5. JapanMobilityShow2025出展報告6. その他報告事項<ol style="list-style-type: none">6-1. 2026年度 事業計画骨子検討のお願い6-2. 3月講演(技術発表会)について6-3. 2026年度海外視察 (IAA2026) について6-4. 2026年度 車体工業会功労者表彰受賞者の推薦について (書面回付)6-5. 2026年度 車体工業会優良従業員表彰受賞者の推薦について (書面回付)6-6. 2026年度 車体工業会主要会議日程 (書面回付)6-7. 2026年度税制大綱、当会に関係する政府の補正予算案 (書面回付)6-8. 最近の官公庁情報 (書面回付)6-9. 最近の商用車販売及び会員生産台数 (書面回付)6-10. 支部登記について (書面回付)

3-1 通常総会、理事会の開催

開催回（日時）	議題
<p># 285 (3月19日)</p>	<p>審議事項 第1号議案 新入会 に関する件 第2号議案 2025年度実績 及び 2026年度計画 に関する件 第3号議案 車体工業会表彰に関する件（功労者・永年在籍・優良従業員）</p> <p>報告事項 1. 2025年度決算見込み に関する件 2. 安全対策としての「再起反射材」貼付促進活動について（資材部会） 3. 競争法対応マニュアルについて 4. その他報告事項 4-1 通常総会開催について 4-2 支部・部会総会計画について（書面回付） 4-3 最近の官公庁情報（書面回付）</p>

3. 本部活動報告

3-2. 委員会活動報告

3-2. 委員会活動報告

2025年度事業計画 (CN専門委員会) 委員長：富山理事 事務局：小森、松本、森田

◎：大幅過達(120%以上) ○：計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下)

項目・ねらい	実施項目	役割分担	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
CN活動全体推進 <ねらい> CN活動全体を先導	(1)CN活動への理解促進のための仕掛けを先導	CN専門委員会 (富山委員長)			#28 ○16					#29 ○29	#30 ○22		#31 ○12		○	(1)(2)第4回3/12委員会で確認 (3)部品工業会との情報交換 (9/24) 実施。部工会の会員支援ツールとの比較を実施し、遜色ないことを確認 官公庁情報として、GX-ETSを調査、10/29の委員会で共有。CJPTとは扱うテーマなく実施せず (4)OEM電動化進捗が各社ばらつきがあり、協調領域の情報共有項目が現時点なく当面様子見
	(2)各委員会・部会(支部)の活動内容確認と情報共有				本部委員会 支部人展開	部会 共有				本部委員会	部会	支部活動を集約				
	(3)自動車5団体との連携 (含CJPT等)															
	(4)商用車電動化対応	中央技術委員会														
新規取組み <ねらい> CO2排出量 低減を加速	①活動強化	CN専門委員会 (富山委員長)													○	(1)各委員会における情報収集、配信進捗を3/12委員会で確認 (2)パ/ン業務委員会で11/27開催した 会員事例発表会を車工会全体セミナーとして2/25開催 (30社46名参加) 3/10 設備電力可視化セミナー (エネルギー費削減に向けた電気代削減のポイント) 開催
	(2)本部連携での情報展開、困りごと収集・対応 部会固有活動:特装CN WG、パ/ン担当者勉強会	各部会														
継続推進 <ねらい> これまでの 活動の 継続・深化	(1)CO2排出量の集約と分析 ①全会員のCO2排出量の把握 ②経団連CO2排出量FU ③ CO2排出量の増減分析【分析WG】	環境委員会 (石川委員長)													○	(1)① 昨年比大幅削減(回収率72.4%)省エネ△3.1万t、CO2フリー電源活用△23.9万t 省エネ目標達成 非量産△3.5%(目標1%)、委託生産△2.7%(目標2%) ②73.5万t (昨年97.1万t) 対象39社 売り上げカバ率96.2% ③CO2フリー電源活用が大幅に増加：活用事例の会員展開を検討
	(2)CN取組みの事例収集 ①省エネ改善事例の収集、展開 ②改善事例集の作成、展開【事例WG】	中央業務委員会 (矢野委員長)														
	(3)CN困りごと：車工会HP周知PRと併せて収集し、 対応を検討															
	(4)勉強会推進 ① CNセミナー・講演会の案内/開催	CN専門委員会 (富山委員長)														
③本部委員会と部会 (支部)との一体活動	環境委員会 (石川委員長)														○	(1)現地訪問相互研鑽の実施 北海道車体(11/20済)、北村製作所(12/2済)、自動車精工 (12/17済)、オーズ(1/23) トレーハウスディベロップメント(2/6)、光伸(2/20)への訪問完了。 部会・支部と連携し次年度も継続 活動結果のHP公開 (3件)。残3件も今後掲載予定
④LCA																

3-2. 委員会活動報告

2025年度事業計画（中央技術委員会） 委員長：富山理事 事務局：上坂

◎：大幅超過(120%以上) ○：計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) ー：評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	中央技術委員会開催予定：4回/年					8				22 (AM)		15			6		第1回(7/8)、第2回(10/22)、第3回(12/15)、第4回(3/6)	
中央 技 術 委 員	1. 法規関係の対応 ＜ねらい＞ 車両法規改正への対応は、技術委員会の最重要項目であり、実施していく。多種多様な特装架装については、一律の法文通りでは運用できないため、素案段階での意見反映や検査側と細部を調整する。技術的規制項目で業界や社会的メリットに繋がるものの緩和要望を進めていく。また、決定後の会員への周知等を十分実施し円滑な適用を徹底する。	(1)車両法規改正への意見反映と円滑な対応 ①法規改正案に対する意見反映 ②協定規則採用動向調査及び周知 (2)技術的困りごとの洗い出しと会員支援等 ① R39(スピードメーター) ② R73 (サイドバンパー) ③ガソリンへのバイオエタノール導入（2028年先行導入目標）に向けたアクションプラン策定TFに参加。 (3)CS/SU&コネクテッド検討WG活動の推進														長田副委員長 新井副委員長・各委員	(1)①保安基準等意見照会12月以降件(3/3時点、9件) (2)①完了 ②国内取り込みに向け保安基準等改正中。現行の保安基準を残しつつ、R73は側面保護装置として導入。普通貨物車のサイドバンパ下端位置引き下げについては今後1年をめどに改正予定。 ○ ③2025～2027年度において、バック等部品の浸漬テストを各社にて実施。ローリ本体タンク部分については2028年度からの先行導入（沖縄県）の検証結果を踏まえて検討する。 (3) ガイドラインの改定版「架装工事ガイドライン第1.1版」としてHPへの掲載完了。利用方法における課題を整理中。また、自工会との合同検討会に向けた要望を取り纏め。マルチステージの概要、解釈文章の作成について方向性は出たものの未だ不透明。「セキュアモード」についても明確な定義することは避け具体的な技術条件を示す方針。	
	2. 基準化/標準化推進 ＜ねらい＞ 車体関係規格は十分とはいえないため、上位規格への策定に参画すると共に JABIA規格の充実を図る。 また、横断的課題が部会単位では動きづらいため、法規対応、自主的共通研究等の部会共通項目を中央技術委員会で対応していく。	(1)JABIA規格等の充実と推進 ・JABIA規格改正1件、標準化等11件 (2)・ISO、JIS、JASO規格作成への参画 ・ISO-TC297対応 ・ISO-TC195対応 (3)各部会の共通調査項目の充実と推進 (4)その他																(1)各部会の取組状況を中央技術にて報告(12/15) 排他的表現の有無チェック完了。(トレーラ1件の修正を含む) (2)他団体主催のISO、JIS、JASO規格委員会へ参画 ・TC297：後部積み込み式RCVのエネルギー消費量の計算に関する宿題について日本サイドの回答をISO事務局へ提出。(積極的な関与はしない) NP投票中 ポストコンシューマー熱可塑性プラスチックの収集輸送に関する各国事情調査を回答 ○ ・TC195：性能試験方法、騒音・振動試験方法の検討の審議結果について次回確認予定4/20 (3)現時点ではアイテムなし。 (4)ガバナンス強化を目的に、車工会名の入ったJABIA SHOPで扱っていない、購入・販売しているラベル/チラシ等の棚卸し実施中（3月取り纏め予定）
	3. 会員の技術力向上・要望への対応 ＜ねらい＞ 当会関係の不具合情報から得た技術情報を共有化し、全体レベルを向上させる。また、発表会を開催し部会や各社の技術的情報交換を活発にしていく。加えて、会員からの業務関係に関する改善要望へ対応を図る。	(1)重大不具合の再発防止策共有活動 ・リコール、改善措置、サービスキャンペーン (2)技術発表会の開催(3月開催) (3)自工会(シャシメーカー) 連携強化 架装要領書への要望(自工会と進め方の調整)																(1)2025年度リール等重大不具合20件（3/3時点、リ:13件、改:1件、サ:6件） ○ (2)技術発表会テーマ募集、集約（～9/30） 特装部会1件、小型部会1件、バス部会1件、資材部会2件 (3) 自工会殿との第2回目の打ち合わせを12/25実施。 2/2当会内WGを開催し車工会からの要望に関する自工会回答について共有。今後は反映時期を含めOEM各社個別対応となるためWG活動は一旦解散。
4. 点検整備推進分科会 ★ ＜ねらい＞ 使用上のトラブルを未然に防止するための適切な保守点検の啓発と、架装物の安全点検制度の普及を図る。	(1)架装物の安全点検制度の普及促進 ・制度対象製品の追加見直しを行い普及促進 ・会員への働きかけと支援（各部会）	委員															(1)第2回分科会10/22に実施 ○ ・次年度、制度活用のできる野を広げるための方策について議論予定	
5. 突入防止装置技術委員会 ★ ＜ねらい＞ JABIAリベット制度の適正運用のための指導及び改正提案への対応を行う。	(1)R58-03改定版の解説書の内容の確認 およびJABIA規格化（2カ年計画）	委員															(1)5/28 #1、2/27#2 委員会開催 ○ 第197回WP.29関係の保安基準意見照会に突入防止技術委員会の提案が盛り込まれた。解説書の修正箇所の見直し方法を議論中。	
6. テールゲートリフト技術分科会 ★ ＜ねらい＞ テールゲートリフト車特有の法規対応を検討していく。	(1)TGLの安全性向上に関する取組み (2)TGLの「突入防止装置解説」および「みなしバンパ自主基準」の見直し	委員															(1)国内の人が搭乗できるリフターや高所作業車等の規格調査実施中 ○ (2)RUPD TGL解説書みなおしの分科会内審議完了。 突入防止装置技術委員会にて内容確認中。	

3-2. 委員会活動報告

2025年度事業計画（環境委員会）

委員長：石川理事 事務局：兵藤

●：大幅超過(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
環境委員会	環境委員会開催予定：4回/年					●				●		●							
	1. リサイクル設計の推進 (ねらい) ・商用車装架物リサイクル自主取組みの適正運用に重要な易解体性を向上 ・環境にやさしい車体造り促進のため環境基準適合ラベル(ホワイト)、及び新環境基準適合ラベル(ゴールド)を世の中に周知	(1)環境ラベル(ホワイト、ゴールド)を社会へPR ①新聞、雑誌への広告掲載(閲覧者の多い媒体を選定) ②効果的なPR方法の検討、実施 (2)環境ラベル(ホワイト、ゴールド)の取得推進 ①アンケート実施による取得意欲の確認(ホワイト、ゴールド) ②環境ラベル取得に向けた現地訪問(手続き説明他) ③環境ラベル取得申請の審査 (3)リサイクル設計の推進 ①易解体設計事例の収集(現地確認含む) ②再利用部品の調査、紹介(解体後の再利用含む) (4)易解体性の課題把握 ①解体作業現場の調査による課題把握 ②車両工場の現地確認(自工会・車工会)※JTP・JAERA含む ③解体後の処理方法における課題抽出	架装物リサイクル分科会				●											○	(1)環境ラベル(ホワイト、ゴールド)を社会へPR ①環境ラベルの広告掲載を実施 フルロード、日刊自動車新聞：4回/年、広報トラック：2回/年 計画通り完了 ②動画PR、SNS、冊子PRなど引き続き検討したが雑誌・新聞の広告掲載を継続 (2)環境ラベル(ホワイト、ゴールド)の取得推進 ①環境ラベル(ゴールド)取得検討会社7社「エコアクション21」地域事務所を紹介(11/26) ②環境ラベル取得に向けた支援(要請会社) 9月 吉谷機械製作所、10月 山崎自動車、TAKANO WORKS ③環境ラベル審査 新規取得会員はゴールド：4社10件、ホワイト：1社2件 (3)リサイクル設計の推進 ①解体作業の現地確認 10/7 KYOEI ②資材部会への調査継続 12/24 (4)易解体性の課題把握 日本トラックファイナパーツ協会(JTP)と打合せを実施(7/29) ①解体作業の現地確認 11/7 金澤商会・やまたけ見学、リサイクル業者と改善要望の情報交換実施 ②車両工場現地確認(自工会・車工会)※JTP・JAERA含む 1/13 日野・トランテックス訪問 25名参加 ③①・②を通じた解体事業者要望を回答し、当会発行「商用車装架物等のリサイクル」へ反映、HPへ掲載完
	2. 協力事業者制度の推進 (ねらい) ・適正な装架物のリサイクル、処理を実施する事業者を紹介	(1)協力事業者制度の推進(自工会と連携) ①登録済の協力事業者(解体業者)の調査(行政処分等) ②登録済の協力事業者(解体業者)の作業内容確認	架装物リサイクル分科会															○	(1)協力事業者制度の推進(自工会と連携) ①協力事業者の行政処分等の調査を外部委託(日産クワイアサービス) →4Q(1~3月)の処分事業者がないことを確認(3/12) ②協力事業者制度新規申込会社：松田産業へ連絡済(11/18)、HP掲載完了(1/7)
3. 環境負荷物質の使用制限 (ねらい) ・環境負荷物質削減を推進	(1)環境負荷物質フリーの展開 ①フリー部品のHP掲載内容の見直し 目標：鉛：2002年度使用量(60g/台)を2006年度に半減(2005年度の達成済) 水銀：2005年1月以降使用禁止(照明装置を除く) 六価クロム：2008年1月以降使用禁止 カドミウム：2007年1月以降使用禁止	架装物リサイクル分科会																○	(1)環境負荷物質フリーの展開 ①現HP掲載内容を確認済(紹介部品の仕様)追加情報があれば掲載を行う
環境委員会	4. 地球温暖化対策の取組み (ねらい) ・経団連の地球温暖化対策の一環としてCO2排出量削減目標を達成 目標：'30年 排出量78万以下('13年比△38%) ・2050年カーボンニュートラルへの挑戦	(1)目標に対する状況確認 【KPI：年間 非量産△1.0%以上、 ①全会員のCO2排出量を把握(電力係数以外)委託生産△2.0%以上】 ②自工会と連携し、代表39社のCO2排出量を把握 ※経団連FU対応 【KPI：売上カバー率95%以上】 (2)会員への情報発信 ①省エネ改善事例の収集、展開 ②改善事例集の作成、展開(事例WG) 【KPI：1件/年以上】 (3)会員の実態把握と支援 ①CO2排出量の増減分析(分析WG) 【KPI：前年度との差異分析】 ②現地訪問による支援(支援WG) 【KPI：現地訪問支援4件/年以上】 (4)部会・支部との連携 ①現地訪問時の意見交換 【KPI：現地訪問時の巻き込み4件/年以上】 (5)Scope3の準備と検討 ①LCA、CFPの推進方法の収集、展開 【KPI：情報展開1件/年以上】	工場環境分科会															○	(1)CO2排出量調査 ①全会員を対象にエネルギー使用量の実績を提出依頼 7/18、回答率：72.4%(3/31時点) 未提出会員を各部会担当者を通じて再提出を依頼(11/15~12/5)、前年度回答率：72%は堅持 KPI：○ 年間 非量産 △3.5%、委託生産 △2.7% 超過 ②委託生産7社と非量産32社にエネルギー使用量を提出依頼 7/18 →8/29自工会へ提出 KPI：○ 売上カバー率 96.8% (2)改善事例の情報発信 ①改善事例の提供依頼 7/18、50件回収、分科会にて共有し、HPへ掲載完了(1/30) ②事例WGにて事例集「儲かる、すぐできる、誰でもできるCN2」を完成 (3)調査結果分析と現地訪問による実態把握 ①分析WGで議論(前年度改善量、再工程量) ②「CN取組み目標アンケート」結果を受けて、支援WGで現地訪問活動、意見交換実施 北海道車体(11/20済)、北村製作所(12/2済)、自動車精工(12/17済)、オージ(1/23済)、 加えて、トレーラーデベロップメント(2/6済)、光伸(2/20済)で実施。他会員への横展事例をHPへ掲載(2/1~) (5)LCA内容の確認、車工会内への展開方法を検討中
	5. 産業廃棄物減量化への取組み (ねらい) ・産業最終処分量を削減 目標：'25年度2,940t以下('00年度比△89%) ・プラスチック資源循環の推進	(1)産業最終処分量の調査 ①全会員の産業廃棄物を把握 ②廃棄物低減のための困り事・課題を調査、解決(木製パレット回収方法、削減事例の展開他) ③代表66社の最終処分量の把握と報告 ※経団連FU対応 (2)処分量削減の事例収集と展開	工場環境分科会															○	(1)産業最終処分量の把握と低減 ①206社対象で10/2展開、122社回答あり、前年との差異を解析 ②木パレット回収方法について部工会へヒヤリング 9/24 木パレ回収および削減事例は次年度、継続調査 ③経団連FU調査の内容を展開、代表66社からの回答集約(売上カバー率97.8%) 台数増を主因として3400tと計画未達(車工会目標2900t)、経団連へ提出(12/12)。 (2)上記とあわせ調査を実施 → 情報提供 19事例あり、HPへ掲載完了(3/10)
	6. VOC排出抑制の取組み (ねらい) ・VOC排出量の削減 目標：51.5g/ml以下('00年度比△50%)	(1)VOC排出量の調査 ①排出量の調査と原単位の算出 (2)改善事例の収集と展開	工場環境分科会															○	(1)調査対象会員への調査を依頼【完了】 ・排出量を集約し原単位の算出 → 目標に対し69%削減(目標達成)、11/4 経産省へ回答済 (2)上記とあわせ調査を実施 → 情報提供 4事例、HPへ掲載完了(3/10)
7. CN活動との連携 (ねらい) ・環境情報、技術を共有	(1)環境関連情報の集約と共有 ①内外部の環境情報の入手と展開 ②車工会HP、車体NEWSへの掲載	事務局															○	(1)環境関連情報の集約と共有 ①各種環境イベント、環境省情報の集約、発信検討中 ②HP環境対応事例の選定と掲載追加(都度対応)	

3-2. 委員会活動報告

2025年度事業計画（中央業務委員会）

委員長：矢野理事 事務局：岩満、★小森、★★鶴見

○：計画、●：実施済

◎：大 ◎：大幅超過(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績及び課題		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
中央業務委員会	1. コンプライアンス優先経営 徹底活動 ＜ねらい＞ 車工会本部活動及び 会員会社でのコンプライアンス 意識醸成やリスクマネジメント 体制整備を図る。 中小企業会員の意識も 醸成されつつある中で、 更なる意識向上、 体制整備の支援を進める。	中央業務委員会開催予定：4回/年 (1) コンプライアンス優先経営の徹底 ① 独占禁止法に関するコンプライアンスの周知徹底 ・独占禁止法に関する会員への啓蒙、支援等 ② 下請取引ガイドラインの徹底 ・適正化特別推進月間対応 ③ 不正な二次架装根絶業界内定着活動 ・「不正改造車を排除する運動」対応 (2) リスクマネジメントへの対応支援（BCP） ・BCPに関する会員への情報提供	中央業務委員会事務局				●9				●23		●16			●5	○	第1回7/9済、第2回10/23済、第3回12/16済、第4回3/5済 (1) ① 会員への啓蒙支援策実行 セミナー案内、公取委HPの紹介(月頭アナウンス8月～)、車体NEWS秋号・冬号掲載、公取委講演会(1/22済) ② 「競争政策セミナー-#2(6/25済), #3(9/9済), #4(12/12済), #5(3/24)」経産省&公取委共催 会員展開済 経産省からの「取引適正化の一層の推進と関連法令の遵守の要請」会員展開(11/18済) ③ 会員展開及び活動集約 正会員及び支部事務局展開(4/28済)、強化月間(6月)、支部活動調査表集約(7月)⇒ 日整連回答(8/5済) (2) 中小企業庁 中小企業BCP策定運用指針 コンテンツ更新された場合に会員へ展開 更新動きなし（最新：2018(H30)版)
	2. 中小会員支援、困りごと等 1) 中小企業経営支援 ＜ねらい＞ CN・SDGsへの適正な対応と 今後想定される景気後退に伴う 経営不振に備えた、中小会員	(1) 中小会員経営における効果的な支援策 ① 各部会における中小支援活動の共有・論議 ② 中小会員合同マネジメント研修の継続開催 ③ 生産性向上のための設備投資アイテムの収集と共有 ・DX化、自動化、ロボット化、からくり、等	中央業務委員会事務局				●9				●23		●16			●5	○	(1) ① #1(7/9済)、#2(10/23済)、#3(12/16済)、#4(3/5済) ② 参加者14社20名(2024年度+6名増)で開催(11/21済) ③ 設備・治工具類導入事例提供依頼 車工会展開(6/2済) → 18社36件 提供あり(3/31時点) 外国人育成就労3団体WG共同開催説明会にて10社19事例を紹介(7/2済)
	2) 中小会員の困りごと ＜ねらい＞ 中小会員の困りごとを吸い上げ、 車工会として出来ることを論議し、 中小支援を充実させる。	(1) 各部会の困りごと共有(各部会報告)と対応検討 ① 既存課題への対応 ② 新規課題への対応 ③ CN課題への対応 (2) 車工会CN活動及びHP周知活動 ・毎月アナウンス (3) 関連団体と連携した税制・法制への要望活動 ① 税制改正要望まとめ ② 規制改革要望推進 ③ 外国人育成就労制度対応(技能実習制度改正) ・ 3団体WG 参画(自工会/部工会/車工会)	中央業務委員会事務局				●9				●23		●16			●5	○	(1) 中央業務委員会で共有 ①②③ #1(7/9済)、#2(10/23済)、#3(12/16済)、#4(3/5済) (2) 毎月実施していたが中央業務としては12月配信を以って終了、以降は広報委員会に委ねる 新着情報NEWS(4/15済)、新着情報NEWSその2(5/8済)、基礎知識/CO2/取組み(6/13済) 取組み事例その2(7/15済)、車体NEWS&CN専門委員会(8/19済)、CO2排出量と削減目標(9/17済) CNに向けた取組み(10/15済)、官公庁情報(12/22済) ※当会HP不具合のため11月は未発行 (3) ① 自動車税制改革フォーラム：税制部会(9/29済)、税制委員会(10/8済)、税制改正大綱(12/26済) ② 規制改革要望 募集展開(2025/3/25済)したものの、応募0件 ③ 業種に『自動車業界』追加要望中、3団体と経産省自動車課との連携により、有識者会議/専門家会議対応中 分野別運用方針閣議決定(1/23済)、経産省告示に関するパブコメ(3/2～3/31)、 最短5月頃正式認可の見通し
	3. 中小企業会員のネットワーク強化と 相互研鑽の仕組みづくり ★ ＜ねらい＞ 中小会員のビジネス形態を学び、 課題などを共有、共に議論して 将来のための気づきと可能性を探る。	(1) 業務軸ネットワーク ・設計/製造部門の人材交流の検討 ・業界内企業間の業務支援体制の検討着手 ・人事/労務関係各社困りごとの共有 (2) モチベーションネットワーク ・訪問ヒアリングを継続開催（2回/年）	事務局				●#1				●#2		●#3		●#4		○	(1) WG #1(6/11済)、WG #2(9/26済)、WG #3(12/5済)、WG #4(2/4済) ・人材交流：製造マン勉強会 第1回(1/30済) ・困りごと：WG #2、#3、#4で論議済 (2) 訪問ヒアリング： ・#1：オールセーフ(株)、山田車体工業(株) (9/25-26済) ・#2：(株)ナッツ(2/4済)
	4. 安全衛生活動WG ★★ ＜ねらい＞ 安全衛生活動に寄与する情報発信と 活動支援を行う。	(1) 安全衛生活動WG (2) 会員各社の現地現物確認（工場/安全道場見学） (3) 会員からの事例収集と会員への事例提供（当会HP掲載） (4) 安全衛生関連法規情報アナウンス	事務局				●#1		●#2		●#3				●#4		○	(1) 全国安全週間アナウンス(5/9済)、WG #1(6/12済)、WG #2(8/4済)、WG #3(10/14済)、WG #4(1/21済) (2) 工場見学先：浜名ワークス(10/14済) (3) ネガ印象払拭のため事例提供フォームを改善し会員展開(9/12済) → 8社8件提供あり、 HP公開準備中 (4) 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センターHP『法令改正一覧』 会員アナウンス #1(7/1済)～#14(3/24済)
5. 現地現物による技能系社員研修 ★★ ＜ねらい＞ 中小会員の現場監督者層研修を通し 自社の現場力アップを支援する。	(1) 従来研修実施(小型部会講師、年1回1拠点、3年輪番制) 2025:トヨタ自動車東日本、26:日産車体、27:トヨタ車体 (2) 新規研修検討：会員ニーズ把握、研修内容検討	事務局													●11/6-7	○	(1) トヨタ自動車東日本(11/6-7済) 3工程(ボデー-溶接/塗装/組立)×定員3→4名=合計9→12名に定員増 参加者6社12名、工程別+からくり(実践)カリキュラム、講師会社の管理監督者(工程別)との座談会を追加 (2) 会員ニーズ調査 会員展開(6/30済)、会員所有の安全体感施設について実態調査実施済	

3-2. 委員会活動報告
2025年度事業計画 広報委員会

委員長：石川理事、事務局：森田、遠藤

●：大幅過達(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	2025年度												評価	実績 及び 課題	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1. 会員への情報発信の一層の拡充 <small><ねらい></small> 会員に必要な情報のタイムリーな発信を継続、拡充するため、リニューアル後のホームページの活用状況を分析し、必要な改善を続ける。	(1)ホームページによる委員会/部会情報の共有 情報共有内容の定義と専用ページの新規作成 検索しやすさの向上 (2)HPの認知度向上・活用増 ①CNページ閲覧頻度向上施策の検討・実施 ②CN官公庁情報の調査とHPへの追加 ③活用状況の分析と改善検討 (3)当会活動/官公庁情報の発信の充実 ・「当会からのお知らせ」「官公庁情報」の情報発信	委員長 /事務局	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	第1回：5/30、第2回：8/29、第3回：11/28、第4回：2/27 (1) 全会員へ情報を展開・共有するため、各委員会・部会・支部の活動状況やガイドラインなどを掲載できる専用ページを開設 ・専用ページの仕様を検討（カテゴリ別検索）し、既存HPに追加（～3月末） ・追加ページに掲載する共有内容の定義を検討（～3月末、4月から掲載予定） ・生成AIを活用した検索（問合せ）機能追加を検討 何を回答（勉強）させるか検討 ※導入目的は会員向け (2) ①アナリティクスによる閲覧状況確認 CNページ：順調に閲覧している傾向あり（前年と比較し微増） ②CN(省エネ)補助金・助成金情報やCN関連情報を調査（委員）※今回情報なし ③HP全体：お気に入りからの流入増加（ブックマークでの定期的閲覧あり） (3) HP新着情報への掲載による発信を実施（2/6現在） ・当会からのお知らせ 30件（4Q：5件） ・官公庁情報 31件（4Q：5件） ・法規情報 3件（4Q：3件）
	2. 当会活動の対外的PRと認知度の向上 <small><ねらい></small> 当会の通常活動に加えて、社会的意義のある活動をPRすることで、プレゼンスの向上を図る。		(1)社会的意義がある当会活動の情報発信 (2)プレスリリースの計画的な発行と内容の充実 5月 ・通常総会会長挨拶 ・25年度車体業界の見通し ・25年度役員体制 ・24年度生産実績 10月・秋季会員大会会長挨拶 ・上期生産台数 1月 ・会長の新年挨拶	● 会長挨拶(5/26) ● 25年度車体業界見通し(5/26) ● 車体工業会役員体制(5/26) 単一需要予測中止 ● 24年度生産実績(5/26) ● 秋季会員大会(10/31) ● 上期生産台数(10/31) ● 年頭の挨拶(1/9)	○	(1) ・機関紙(車体NEWS)を利用し活動内容(委員会・部会・支部活動他)を展開 ・HPの資料や情報を最新版へ更新や追加（12月：7件、1月：1件、2月：6件） ・SNSを利用した発信内容を委員会で議論し、今後基準を検討する (2) 本部からの情報発信とし、ホームページへの掲載と合わせ報道機関にもリリース ・2026年新年会長挨拶（1月配信） ※リリース先 日刊自動車新聞 日刊工業新聞 輸送経済新聞											
	3. 機関誌「車体NEWS」の充実 <small><ねらい></small> 紙媒体の特性を活かし、掘り下げ記事を充実、HPでの速報性と相乗効果により効果的な情報発信とする。		(1)配布部数の見直し 配布部数の削減検討（CN観点） (2)デジタル化の検討 配信タイミング、記事内容の検討 他団体、他業界のベンチマーク (3)記事内容の拡充と執筆スキルの向上 次号の記事内容・担当会社の確認・論議	● 削減検討 ● 現状 ● 削減検討 ● 実行 ● デジタル化検討 ● 報告 ● 議論 ● ベンチマーク ● 報告 ● 2026年記事担当部会決定(一部、総会)	○	(1) 従来から配布数を見直し 会員会社への配布を「1部/社」とし、複数配布先にはHP掲載先の案内を同封連絡 (2) ・車体NEWSのコンテンツを精査 コンテンツの要・不要や統合などを議論 → デジタル化に向け、引き続き構成を検討する (3) 夏号の記事担当会社、構成、日程について委員会で確認 2027年度の担当会社について、残すコンテンツについて各部会担当を決定											

委員長：富山会長、事務局：小森、松本、森田

項目・ねらい	実施項目	担当	2025年度												評価	実績 及び 課題	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1. ジャパンモビリティショー(JMS)等のイベントの充実 <small><ねらい></small> 当会認知度の向上、当会活動のPRのため、モーターショー等でのイベントを充実させる。	(1)JMS2025対応 屋内展示の仕様検討・実施（車両展示なし） JMS2025 期間：2025年10月29日～11月9日 場所：東京ビッグサイト (2)他イベントの検討（国内外） (3)自工会、部工会、他関係団体との調整	能條副委員長 事務局	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	(1) JMS2025対応（10/19～11/9） 車体工業会の取組みを中心に紹介 ※展示ブース来場者数 3.5万人（JMS2025全体 101万人） 展示物 ・車体工業会の取組み映像：新規作成（+既存のトラウマ・ABS・ROC映像） ・はたらくクルマが出来るまでの紹介パネル：新規作成 ・各分会毎のモデルカー展示（計11台） ・会員紹介パネル（各社名+写真+製品名） ・車体工業会の安全・環境の取組み紹介パネル：新規作成 ・イベント（ぬり絵シール+壁に貼付枠設置）

3. 本部活動報告

3-3. 事務局業務報告

(1) 2025年度法規関係情報一覧

第281回理事会資料

	No.	日付	表題	概要
国土交通省	1	2025/3/17	令和7年度税制改正に伴う対応について	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年12月27日に閣議決定された令和7年度税制改正大綱に基づき令和7年3月末までに税制改正関連法案が公布された場合、令和7年4月1日から先進安全技術を搭載したトラック・バスに係る税制特例措置（ASV 税制特例）について、自動車税の特例措置が2年間延長。
	2	2025/3/24	「自動車検査業務等実施要領について（依命通達）」の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> 「道路運送車両法施行規則」（昭和26年運輸省令第74号、以下「車両法施行規則」という。）が改正され、令和7年4月より、自動車検査証の有効期間の満了する日の2か月前から残存する有効期間を失うことなく継続検査を受検することが可能となった。 物流政策における輸送の効率化を目的としてダブルス連結車等の導入が見込まれている状況を踏まえ、自動車検査業務における手続きを円滑に処理するため、「自動車検査業務等実施要領について（依命通達）」（昭和36年11月25日付け自車第880号）の一部を改正（ダブルス連結を行う車両等について、自動車検査証で確認を行えるよう自動車検査証の表記方法を規定）する。 その他所要の改正。
	3	2025/3/31	「自動車型式認証実施要領について（依命通達）」等の一部改正について（依命通達）	<ul style="list-style-type: none"> 自動車メーカー等は、自動車の型式指定を取得するため、自動車の構造、装置及び性能を記載した諸元表などの申請書類を提出する必要があるが、近年、自動車の安全・環境基準が強化され、それに伴い申請書類や手続き等が膨大となっていることから、国及び関係業界の双方において必要な資源を振り分けられるよう、申請書類の削減などの認証に係る手続の簡素化及び合理化を検討し、抜本的な認証業務の見直し改善を図る。 「自動車の型式指定に係る不正行為の防止に向けた検討会」を設置、本検討会における議論を踏まえ、自動車メーカー等における不正リスクを低減するための対応策として自動車型式指定規則（昭和26年運輸省令第85号）、装置型式指定規則（平成10年運輸省令第66号）、共通構造部型式指定規則等について所要の改正が行われたことによる「自動車型式認証実施要領について（依命通達）」等、所要の改正。

(1) 2025年度法規関係情報一覧

第281回理事会資料

	No.	日付	表題	概要
国土交通省	4	2025/3/31	「内部統制システムを記載した書面の記載事項等を定める通達」の制定について及び「量産車適合性分析等の取扱い」の制定について	・複数の自動車メーカー等による型式指定申請における不正行為が確認され、型式指定を取得した自動車が保安基準不適合となるなどの事案が明らかになったことを受け、その再発を防止するため、令和6年4月、国土交通省物流・自動車局は、外部有識者を含めた「自動車の型式指定に係る不正行為の防止に向けた検討会」を設置した。本検討会における計9回の議論を踏まえ、自動車メーカー等における不正リスクを低減するための対応策を制定。
	5	2025/4/9	「自動車型式認証実施要領について（依名通達）」の一部改正に伴う取扱いについて（平成12年11月17日付自審第1493号、自技第211号）」の廃止について	・申請書類の削減などの認証に係る手続の簡素化及び合理化の抜本的な認証業務を見直し改善を図るため、2025.3.31付けで規定の一部を改正したことに伴う廃止。
	6	2025/4/14	「不正改造車を排除する運動」への積極的な取組について及びその実施方法等について	・令和7年度においても、関係省庁、自動車関係団体等の協力のもと、全国的な不正改造車の排除のための諸活動への積極的な取組についての協力依頼。
	7	2025/4/14	自動車点検整備推進運動の実施について（依頼）及び実施細目について	・自動車の使用者には、道路運送車両法において自動車の適切な点検・整備の実施が義務付けられているが、使用者に十分理解されているとは言えず、大型車では重大事故につながりうる車輪脱落事故が増加傾向にある。これらを踏まえると、自動車の安全確保のための予防的な点検・整備が確実に実施されるよう、啓発を行っていくことが重要であることから、関係機関等への自動車ユーザーによる保守管理徹底の推進依頼。
自技構	8	2025/3/25	「新規検査等提出書面審査要領において理事長が指定する適合宣言書発行者取扱要領について」の一部改正について	・審査事務規程第63次改正に伴い、「新規検査等提出書面審査要領において理事長が指定する適合宣言書発行者取扱要領について」（令和2年12月15日付け自検第71号の3）の一部を改正。（書きぶりの変更又は項ズレに伴うもののみであり、取扱いの変更はなし）
軽検協	9	2025/3/24	軽自動車検査協会検査事務規程の一部改正について	・独立行政法人自動車技術総合機構審査事務規程の一部改正（第63次）に伴う所要の改正

(1) 2025年度法規関係情報一覧

第282回理事会資料

	No.	日付	表題	概要
国土交通省	1	2025/6/3	自動車の排出ガス低減性能を向上させる改造の認定実施要領の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の排出ガス低減性能を向上させる改造の認定実施要領(平成19年国土交通省告示第131号)について、刑法の改正により「懲役」及び「禁錮」等の字句が「拘禁刑」に改められたことを受けた、改造申請者の欠格事由に係る部分の改正。
	2	2025/6/17	道路運送車両の保安基準等の一部改正(第194回WP.29関係)	<ul style="list-style-type: none"> 「ペダル踏み間違い時加速抑制装置に係る協定規則(第175号)」の新規採択ほか、「電波障害防止装置に係る協定規則(第10号)」等の改訂採択に伴う改正。 電子的な検査(OBD検査)について対象装置の拡充。 高性能林業機械の導入促進のため公道走行を可能とする措置。 これらを踏まえ、道路運送車両の保安基準、装置型式指定規則、道路運送車両法関係手数料規則、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等について所要の改正。
	3	2025/6/17	原動機付三・四輪自転車の構造及び装置に係る技術基準について	<ul style="list-style-type: none"> 原動機付三・四輪自転車の構造及び装置に係る技術基準の制定。 (これに伴い、「原動機付三・四輪自転車の構造・装置に係る技術基準について」(昭和59年・地技第85号、地審第280号)及び「原動機付三・四輪自転車の構造・装置に係る技術基準等の細部取扱いについて」(昭和59年・地技第86号、地審第281号)は廃止)
	4	2025/6/17	「装置型式指定実施要領について(依命通達)」等の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> 「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」及び「視界内表示投影装置」の装置型式指定基準への追加。 協定規則の改訂に伴う、装置型式指定基準において直接引用している協定規則番号の改正。 その他所要の改正。

(1) 2025年度法規関係情報一覧

第283回理事会資料

	No.	日付	表題	概要
国土交通省	1	2025/9/26	道路運送車両の保安基準等の一部改正（第195回 WP.29 関係）	<ul style="list-style-type: none"> ・電気式ハイブリッド自動車及び複数の駆動用電動機を備えた電気自動車のシステム出力の決定に係る協定規則（第177号）の採択、制動に関するカテゴリーM、N、Oの車両の認可に関する統一規定（第13号）等の改訂の採択に伴う改正。 ・自動車の型式指定に係る不正行為の防止に向けた検討会の取りまとめを踏まえ、基準の適用時期を統合する見直しに伴う道路運送車両の保安基準等所要の改正。 ・その他所要の改正。
	2	2025/9/26	「装置型式指定実施要領について（依命通達）」等の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送車両の保安基準等の一部改正（第195回 WP.29 関係）に伴う装置型式指定規則等の改正。 ・令和8年1月1日をもって「完成検査終了証の取扱いについて」（昭和47年10月16日付自車第770号）の廃止。
自動車技術総合機構	3	2025/7/23	審査事務規程の一部改正について（第64次改正）	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送車両の保安基準及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う改正。 ・UN R175 に規定された要件に適合するペダル踏み間違い時加速抑制装置を備えなければならないことを規定。 ・自動車の運転者席に視界内表示投影装置を備える場合には、運転に必要な視野を確保し、かつ、運転操作を妨げないものとして、UN R176 に規定された要件に適合しなければならないことを規定。 ・その他所要の改正。
	4	2025/7/30	「審査事務規程 2-7(2)に規定する「別途定める方法」について」について	<ul style="list-style-type: none"> ・電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるもの（以下、「電磁的記録」という。）により作成されたファイルとし、「独立行政法人自動車技術総合機構交通安全環境研究所自動車認証審査部ネット」（以下「審査部ネット」という。）より、審査部ネットの申請アプリケーションを使用した方法、郵送、持参又は E-mail のいずれかの方法により、自動車機構本部検査部検査課へ提出。

(1) 2025年度法規関係情報一覧

第283回理事会資料

	No.	日付	表題	概要
自動車技術総合機構	5	2025/8/1	審査事務規程（交通研部分）の一部改正について （第 65 次改正）	<ul style="list-style-type: none"> 道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う「審査事務規程」等の一部改正。 試験規程（TRIAS）の新規追加 5 項目、細目告示に既に採用されている協定規則の改訂に伴う一部改正 13 項目。 中国の試験機関（CATARC）の追加。
	6	2025/9/26	審査事務規程の一部改正について （第 66 次改正）	<ul style="list-style-type: none"> 道路運送車両の保安基準及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う改正。 走行距離計の精度要件が規定されたことに伴い、走行距離計の精度に関する審査方法等を規定。 国土交通省において、保安基準の適用時期の見直し（適用時期の統合）が行われたことに伴う、適用関係の整理に係る規定の改正。 その他所要の改正。
軽自動車検査協会	7	2025/7/28	軽自動車検査協会検査事務規程の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> 自動車型式認証実施要領別添 1 第 18 及び共通構造部（多仕様自動車）型式指定実施要領第 17 に基づき、「自動車の検査時に必要な情報」の内容及び受領方法等所要の改正。 審査事務規程第 64 次改正に伴い規定等所要の改正。 その他所要の改正。
	8	2025/8/1	軽自動車検査協会検査事務規程 2-28「自動車の検査時に必要な情報及び受領方法」(2)に規定する「軽自動車検査協会が別途定める方法」について	<ul style="list-style-type: none"> 「独立行政法人自動車技術総合機構交通安全環境研究所自動車認証審査部ネット」の申請アプリケーションを使用した方法、または、郵送、持参、若しくは、E-mail のいずれかの方法。（E-mail を利用する場合は、事前に検査部検査企画課に連絡が必要。）

(1) 2025年度法規関係情報一覧

第284回理事会資料

	No.	日付	表題	概要
国土交通省	1	2025/11/21	「内部統制システムを記載した書面の記載事項等を定める通達」の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> ・「内部統制システムを記載した書面の記載事項等を定める通達」（令和7年3月31日国自審第2964号）の改正 （用語の定義、内部統制評価報告書、第三者機関による認証業務に係る内部統制評価の実施要領等、新設、標記内容の変更等）
	2	2025/12/12	完成検査終了証が発行された自動車及び一時抹消登録等がされた自動車に係る自動車部品を装着した場合の新規登録等における取扱いについて（依命通達）	<ul style="list-style-type: none"> ・新規検査時におけるオプションパーツの取扱いの変更 現在は新規登録前にオプションパーツを取付けた場合、自動車技術総合機構（機構）に現車提示が必要となっていることから、自動車ディーラー等は、ユーザーとの販売契約が終了しても、新規登録が終了するまでオプションパーツの取付け作業に着手できない。整備士不足等を背景に、計画的な作業を実施したいとの自動車ディーラー等の要望を踏まえ、一定の範囲内のオプションパーツの取付けであれば、機構への現車提示を不要とする改正。（令和8年1月施行）
	3	2026/1/9	道路運送車両の保安基準等の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車に備える前向き座席に任意でヘッドレストを備える場合には、技術的要件を適用する ・ペダル踏み間違い時加速抑制装置の適用対象に小型貨物自動車を追加 ・装置型式指定規則の一部改正 協定規則の改訂等に伴い、装置型式指定規則において引用する協定規則番号を改正 ・その他所要の改正
	4	2026/1/9	「装置型式指定実施要領について（依命通達）」等の一部改正について（依命通達）	<ul style="list-style-type: none"> ・協定規則の新設及び改訂に伴い、装置型式指定基準において引用している協定規則番号を改正 仕切り装置に係る協定規則（第126号）、ペダル踏み間違い時加速抑制装置に係る協定規則（第175号）の他、5規則。 ・「自動車型式認証実施要領」の一部改正 軽微な変更の取扱要領について、軽微な変更に該当するものについての明確化等 ・その他所要の改正

(1) 2025年度法規関係情報一覧

第284回理事会資料

	No.	日付	表題	概要
自動車技術総合機構	5	2025/10/31	審査事務規程（交通研分）の一部改正について（第67次改正）	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う「審査事務規程」等の一部改正 ・試験規程（TRIAS）の新規追加1項目、細目告示に既に採用されている協定規則に対応したTRIASの新規追加1項目、細目告示に既に採用されている協定規則の改訂に伴う一部改正16項目 ・その他所要の改正
	6	2025/12/22	審査事務規程の一部改正について（第68次改正）	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う改正 ・OBD検査の対象装置の追加 車線逸脱警報装置、側方衝突警報装置、ペダル踏み間違い時加速抑制装置 ・国土交通省の「完成検査終了証が発行された自動車及び一時抹消登録等がされた自動車に係る自動車部品を装着した場合の新規登録等における取扱いについて（依命通達）」発出に伴う審査の実施方法を規定 ・その他所要の改正
	7	2025/12/24	審査事務規程（交通研部分）の一部改正について（第69次改正）	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車型式認証実施要領改正に伴う審査事務規程等改正 最小回転半径の試験成績書提出等に係る見直し 構造基準等適合検討書及び指導基準適合検討書の見直し 認可証再活用時の確認手数料について見直し ・その他所要の改正

(1) 2025年度法規関係情報一覧

第285回理事会資料

	No.	日付	表題	概要
国土交通省	1	2026/2/16	道路運送車両の保安基準及び道路運送車両法施行規則の一部を改正する省令について	<ul style="list-style-type: none"> ・保安基準の一部改正 <p>国土交通大臣が、米国で製作された自動車のうち、告示で定めるものについて、安全性の確保及び公害の防止に係る措置が講じられることにより保安上及び公害防止上支障がないものとして国土交通大臣の認定を受けた場合は、保安基準及びこれに基づく告示であって当該自動車ごとに指定したものに適合するものとみなすほか、所要の改正。(第58条の3関係(新設))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施行規則の一部改正 <p>上記により国土交通大臣が認定した自動車は、自動車検査証にその旨記載することとする(第35条の3関係)ほか所要の改正。</p>
	2	2026/2/16	「リコールの届出等に関する取扱要領について(依命通達)」の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> ・リコールの届出及びリコールの実施状況報告等を取扱う「リコールの届出等に関する取扱要領について(依命通達)」に、道路運送車両の保安基準第58条の3の規定による自動車も含めるにあたり当該通達の一部を改正。
	3	2026/2/16	「自動車検査業務等実施要領について(依命通達)」の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> ・認定米国車の自動車検査証等に記録する車名及び型式は、「道路運送車両の保安基準第58条の3の規定による自動車の認定要領について(依命通達)」(令和8年2月16日国自基第186号国自審第2560号)別添に基づく認定証に記載された車名及び型式とすることを規定。 ・認定米国車である旨を自動車検査証等に記録する場合の備考欄記載事項及び記録事項を規定。 ・その他、所要の改正。



(1) 2025年度法規関係情報一覧

第285回理事会資料

	No.	日付	表題	概要
自動車技術総合機構	4	2026/2/3	審査事務規程（交通研分）の一部改正について（第70次改正）	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う「審査事務規程」等の一部改正 ・試験規程（TRIAS）の新規追加1項目、細目告示に既に採用されている協定規則に対応したTRIASの新規追加2項目、細目告示に既に採用されている協定規則の改訂に伴う一部改正11項目、誤記修正等4項目 ・その他所要の改正。
	5	2026/3/2	審査事務規程（交通研分）の一部改正について（第71次改正）	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送車両法の保安基準の一部改正(令和8年国土交通省令第9号)、道路運送車両の保安基準第五十八条の三第一項に規定する国土交通大臣が定める自動車及び第四項に規定する国土交通大臣の行う認定に関し必要な事項を定める告示の制定（令和8年国土交通省告示第279号）等に伴い規程等を改正 「審査事務規程」 ・審査の実施方法の見直し 審査の実施方法に道路運送車両の保安基準第58条の3の規定による自動車の認定要領（以下「認定要領」という。）を追加する改正。 ・審査結果の通知方法の見直し 認定要領に基づき国土交通大臣への審査結果の通知方法を追加する改正。 ・その他「審査関係連絡事項」、「自動車等の先行受託試験実施要領」の所要の改正。
自動車合機技術溝	3	2026/3/25	審査事務規程の一部改正について（第72次改正）	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送車両の保安基準及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う改正 <ul style="list-style-type: none"> 協定規則第178号の審査方法を規定、その他所要の改正 ・道路運送車両の保安基準第58条の3及びこれに基づく告示等の制定に伴う改正 ・改造自動車届出制度の見直し <ul style="list-style-type: none"> 改造自動車届出制度を新規検査等届出制度に統合しオンライン届出を可能とする等

(1) 2025年度法規関係情報一覧

第286回理事会資料

	No.	日付	表題	概要
国土交通省	1	2026/3/11	道路運送車両法関係手数料令の一部を改正する政令の公布について	<ul style="list-style-type: none"> 道路運送車両法関係手数料令の一部を改正する政令の公布 ※2025.3.31の認証不正関係省令等改正の型式指定手続に係る手数料額の改正
	2	2026/3/31	自動車の燃費性能に係る表示の実施について（依頼）	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の燃費性能に対する一般消費者の関心と理解を深め、もって一般消費者の選択を通じ燃費性能の高い自動車の普及を促進することを目的とし、自動車の燃費性能に係る表示についての実施依頼 （例） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> 別記様式 8  </div> <div style="text-align: center;"> 別記様式 16  </div> </div>
自動総車合技機術溝	3	2026/3/25	審査事務規程の一部改正について（第72次改正）	<ul style="list-style-type: none"> 道路運送車両の保安基準及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う改正 <ul style="list-style-type: none"> 協定規則第178号の審査方法を規定、その他所要の改正 道路運送車両の保安基準第58条の3及びこれに基づく告示等の制定に伴う改正 改造自動車届出制度の見直し <ul style="list-style-type: none"> 改造自動車届出制度を新規検査等届出制度に統合しオンライン届出を可能とする等

(1) 2025年度法規関係情報一覧

第286回理事会資料

	No.	日付	表題	概要
軽自動車協検会	4	2026/3/2	軽自動車検査協会検査事務規程の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> ・地方税法の改正に伴い、業務方法書、検査事務規程及び組織規程にある「軽自動車税種別割」という文言を「軽自動車税」に改正 ・その他所要の改正
	5	2026/4/22	軽自動車検査協会検査事務規程の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> ・認定米国車の検査方法及び自動車検査証への記載方法を規定するための所要の改正 ・新規検査等において、自動車の種別、自動車の用途及び車体の形状を判定することを明確化、検査の実施方法の構成見直し及びその他書きぶりの適正化等所要の改正 ・審査事務規程第 第 72 次改正における改造自動車届出見直しに伴い、関係する規定について所要の改正

(2)2025年度経済産業省、厚生労働省からの展開項目一覧

<経済産業省>

発行日	項目
25/4/30	2025年版中小企業白書・小規模企業白書
24/6/12	「2025年度 夏季の省エネルギーの取組みについて
25/8/19	変革の時代における競争政策セミナー（第3回）
25/8/27	2025年9月「価格交渉促進月間」の実施について
25/12/2	「重点支援地方交付金を活用した支援策及びパンフレット更新」について
25/12/2	「大雪等異常気象時におけるトラック輸送の安全の確保に向けた御理解と御協力をお願い」
25/12/3	「省エネ支援パッケージの公表」について
25/12/15	取引適正化の一層の推進と取適法違反行為の未然防止のお願い
25/12/19	2026年経済センサスー活動調査の事前周知について
25/12/25	燃料価格下落時におけるトラック運送業の適正取引の徹底について
26/1/27	大胆な投資促進税制について
26/1/29	「労務費に関する基準」周知のご案内
26/2/6	生産性向上支援サポーターの公募情報、省力化投資補助金の活用事例集について
26/2/19	港湾運送事業における適正取引推進ガイドラインについて
26/2/19	第3期復興・創生期間における福島県浜通り地域等の産業復興の支援策について
26/2/25	自殺対策強化月間（3/1～3/31）の協力をお願いについて
26/2/27	第5回「変革の時代における競争政策セミナー」
26/3/3	価格交渉促進月間について

26/3/6	「治療と就業の両立支援指針」の周知について
26/3/10	3月は価格交渉促進月間！取適法・価格交渉セミナー
26/3/31	物資の流通の効率化に関する法律の全面施行について

<厚生労働省>

発行日	項目
25/4/9	企業等における校正な採用選考の実現に向けて
25/6/24	「令和7年度エイジフレンドリー補助金」のご案内
26/3/26	「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について

(3) 黄綬褒章 受章

高橋幸也氏(トヨタ車体(株))は自動車ボデー職種における復元技能に優れ、不具合の検出力と修正技能に卓越している。鉄板の亀裂、皺、割れ、歪等の高度な修正ができる技能を有し、それらの技能を使いこなし、多くの工程・設備改善を実施した。近年は、より幅広い視野に立った工程/設備改善・デジタル化にも着手している。伝承の面でも活躍していることが評価され黄綬褒章を受章された。心よりお慶び申し上げます。

(4) 安全優良職長厚生労働大臣顕彰 受賞

高い安全意識を持って適切な安全指導を実践してきた優秀な職長を表彰する安全優良職長厚生労働大臣顕彰を当会関係者から下記の方が受賞された。

谷河 英樹 氏 極東開発工業株式会社 三木工場

4. 部会活動報告

4. 部会活動報告
2025年度事業計画 (特装部会技術分科会)

	項目・ねらい	実施項目	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
特装部会分科会	分科会					18													
	(1) ダンプ車	①ダンプ車における共通課題 ①-1 各種法改正への対応検討 ①-2 良品化(品質向上、安全性向上)の検討 ②ものづくり研究 (他分科会との合同も検討)			①-1 情報共有・対応検討													○	2/12 第3回分科会開催 ①-1 車工会発信の法規改正、技術委員会情報を共有 ①-2 2026年度の活動計画を検討 製品の良品化と取扱い上の安全性向上、使用者への啓蒙及び、解体マニュアルの見直しを課題とする。 ② 2025年度同様に他分科会と合同開催とする。(2026年度の幹事担当)
	(2) 脱着キャリア	①脱着キャリアにおける共通課題 (各種法改正による問題点抽出と対応検討) ②ものづくり研究 (他分科会との合同も検討) ③新型キャリアの審査 ④【自主基準】オープンコンテナの内法上限高さ超の運用について各社の実施状況を調査、検証			情報共有化、対応検討													○	①第3回 (3/24予定) 法規改正情報の共有 ②合同開催にて工場見学実施 (12/11川崎重工業(株)明石工場) ③該当案件無し ④現段階における各社の実施現状を確認し、問題ないことを確認した(7/24分科会にて確認済)
	(3) 脱着コンテナ	①脱着コンテナにおける共通課題 (各種法改正による問題点抽出と対応検討) ②ものづくり研究 (他分科会との合同も検討) ③新型コンテナの審査 ④【自主基準】オープンコンテナの内法上限高さ超の運用について各社の実施状況を調査、検証			情報共有化、対応検討													○	①第3回 (3/24予定) 法規改正情報の共有 ②合同開催にて工場見学実施 (12/11川崎重工業(株)明石工場) ③該当案件無し ④現段階における各社の実施現状を確認し、問題ないことを確認した(7/24分科会にて確認済)
	(4) ミキサ車	①ミキサ車における共通課題 各種法改正による問題点抽出と対応検討 ②ものづくり研究 (他分科会との合同も検討) ③新型ミキサドラム型式の国交省届出 ④ISOミキサ安全関連勉強会			情報共有化、対応検討													○	①第3回のミキサ分科会で情報共有実施1/23 JABIAショッ化：ドラム諸元銘板はこれまで通り個社対応としたい。 ②特になし ③4Qでは各社からの新型ドラムの申請はなし。 ④第3回のミキサ分科会で安全勉強会実施(過去の安全関連取組み紹介)
	(5) 塵芥車	①塵芥車における共通課題 (各種法改正による問題点抽出と対応検討) ②ものづくり研究 (他分科会との合同も検討) ③ISO/TC297対応 ④塵芥車荷箱容積中心位置の国交省届出/四半期毎			見学先選定		○											○	①「車工会」記載ラベルの一部について協議。(3月11日の分科会で予定) ②25年12月11日実施済み。(川崎重工明石工場) ③ISO/TC297 10月の国際会議(WG2)での宿題の回答を作成、3月12日に議論。(予定) ④4Q荷箱届出調査、報告を実施予定 (3月末に提出)
	(6) ローリ車	①ローリ車における共通課題 (各種法改正による問題点抽出と対応検討) ②ものづくり研究 (他分科会との合同も検討) ③関連メーカー及び団体との情報交換実施 (全国危険物安全協会・消防等)		○					○								○	○	計4回分科会開催 (2025/6/6、7/28臨時、11/27、2026/3/26予定) ①製造における問題点 (シャン架装他)、安全面での課題他について情報共有 ②古河ロックドリル様工場見学会 (グループ1、2025/11/7) ③消防庁危険物保安室情報交換会 (2026/1/28)
	(7) 粉粒体運搬車	①粉粒体運搬車における共通課題 ①-1 各種法改正による問題点抽出と対応検討 ①-2 良品化の検討 ②ものづくり研究 (他分科会との合同も検討)			①-2 情報共有・対応検討													○	①-1 R73対応については各社問題ない見込み。 ①-2 CS対応方法などについて各社情報共有。 ② 11/7古河ロックドリル(株)様へ見学実施
	(8) クレーン車	①クレーン車における共通課題 (各種法改正による問題点抽出と対応検討) ②ものづくり研究 (他分科会との合同も検討)			情報共有化、対応検討													○	①各WG活動からの報告及び情報共有。 車両後退通報装置(R165)が決定したら、クレーン分科会で報告する。 ②11月7日に古河ロックドリル株式会社に工場見学に出掛けた。 参加人数は23名。 来春号の部会だよりに掲載予定の原稿を提出済み。
	(9) 清掃車	①清掃車における共通課題 (各種法改正対応検討) ②吸引清掃車の油圧機構に関する安全基準 (P1150) 見直し ③ものづくり研究 (他分科会との合同も検討) ④ISO/TC297/TC195対応(都度対応) ⑤サービス委員会清掃車メンテナンスニュース作成協力			都度情報共有・対応方法検討													○	①4Q共通課題なし ②取説でハッチ降下防止安全装置の残留リスクを明示する、安全基準見直しなし ③グループ2工場見学は12/11 川崎重工業明石工場 委員から3名参加 ④TC195、TC297は都度対応中 ⑤強力吸引車の挿絵提供済み 新明和殿、モリタエコノス殿、兼松ENGの3社で作成中
テールゲートリフト技術分科会	①各種法改正による問題点抽出と対応検討 ②TGLの安全性向上に関する取組み ③TGLの突入防止装置及びみなしパンパ解説書見直し			情報共有・対応検討													○	①3月17日の分科会で情報共有予定。②国内の人が搭乗できるリフトや高所 作業車等の規格調査実施中。③RUPD TGL解説書みなしおの分科会内審議完了。 突入防止装置技術委員会にて内容確認中。	

4. 部会活動報告

2025年度事業計画（特種部会）

部会長：森理事 事務局：兵藤

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
特種部会	1. 部会全体活動 (ねらい)部会内の横断的事業の展開、活動による活性化	(1)部会総会、合同委員会(4回/年)の開催 (2)車両法規改正情報の展開状況の共有 (3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4)工場見学会の開催(3回/年)内1回は若手対象 (5)CN達成に向けた活動 ・本部が主導する説明会・セミナーの部会展開	●総会		●#1 6/27		●#2 9/19		●#3 11/21		●#4 2/26					○	(1)4/18部会総会、6/27#1、9/19#2、11/21#3合同委員会、2/26#4 (2)意見照会45件、法規改正情報29件、その他15件(3/31時点) (3)20件のリコール情報を展開(3/31時点) (4)年3回の工場見学会完了。第1回(7/3~4 三菱ふそうバス製造、天龍工業、ビューテックバスサービス)26名参加 第2回は若手対象(11/27 加藤製作所)28名参加。第3回(1/15~16 山田車体工業・坪井特殊車体)23名参加 (5)12/22 CN専門委員会情報の共有 CO2排出量部会別調査結果報告、回答会社増だがCO2排出量も微増 CN現地訪問支援活動結果共有→特種部会は2/20 光伸で実施			
	2. 車両関係法規の対応 (ねらい)車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、対応	(1)新法規制定、法規変更内容の共有 ・法規改正案に対する意見反映と改正内容の共有 ・本部WG活動情報の共有(TGL、突入防止等) (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等 自動車技術総合機構との技術検討会の開催による法規解釈、車検時の課題等の解決				委員会毎に共有											○	(1)12/15 中央技術委員会情報の共有 ・UNR73の国内取り込みに関するWG、基準適用日の扱いに関するWG 進捗状況共有 ・TGL、突入防止：両技術委員会からの共有事項なし (2)自動車技術総合機構との技術検討会(1/21→2/19)に向けたテーマ出し ・特種部会より5件、11/21 事前検討会開催 →最終テーマ3件、2/19開催。特種部会から18社38名参加		
	3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進 (ねらい)標準化・共通化による品質向上。共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1)JABIA規格化、ガイドライン作成等の実行 ・中央技術委員会エントリー項目の推進 ・JABIA規格棚卸し ・特種要件見直し項目の確認と対応 (2)調査研究テーマの検討			●		●		●		●							○	(1)・中央技術委員会エントリー項目なし ・JABIA規格棚卸し：25年度棚卸対象規格なし ・特種要件見直し項目の確認(pending項目、新規有無) ・JABIA SHOPで扱っていないラベル類の棚卸のお願い→8社から回答済、特に問題なし (2)調査研究テーマ有無確認 ・現時点でなし	
	4. 安全点検整備の推進 (ねらい)架装物の適正使用の推進	(1)安全に関する事例共有 (2)特種特有部位の安全点検に関する論議 (論議必要項目の有無確認と論議)				委員会毎に確認												○	(1)紹介できる安全・点検整備に関する項目の共有を依頼 (2)臨検時の対応、日常管理ポイント共有(中央業務委員会への上程結果) ・車工会HP会員ページ「労働災害対策及び改善事例」安全気づきシートほか	
	5. 中小企業経営支援、困り事対応等 (ねらい)中小企業会員の困り事に対する支援、安全衛生/人材育成支援	(1)中央業務委員会内容の共有・論議 (2)中小会員の困り事収集と対応論議 (3)安全衛生活動WG情報の共有 (4)中小会員ネットワーク強化WG情報の共有 (5)中小会員向け研修の展開(技能系社員研修、管理監督者研修等)				委員会毎に確認												○	(1)(2)中央業務委員会部会報告内容の論議・決定 (3)安全衛生活動WG(10/14 浜名ワークス 1名) (4)中小会員ネットワーク強化WG(2/4 ナッツ 5社5名) ・製造マン勉強会(1/30 矢野特殊自動車 5社6名) (5)技能系社員研修(11/6~7 TMEI 3社5名)、管理監督者研修(11/21 8社14名)	
	6. 他団体との連携	2.(2)で実施																	-	2.(2)参照
	7. 車体NEWS (ねらい)部会担当記事の期限内提出と内容の充実	部会担当記事作成会社の確認と記事内容の論議				委員会毎に確認													○	車体ニュース春号：広告：ケーエムオー、コーヒーブレイク：Takano Work's 車体ニュース夏号：働くクルマ：ゴルフツアーバン、我が社の元気人：西鉄車体技術 2027年度の担当について協議

4. 部会活動報告

2025年度事業計画（トラック部会）

部会長：近藤理事 事務局：鶴見

◎：大幅過達(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1. 部会全体活動 (ねらい)部会内の横断的事業の展開、活動による活性化。	(1)部会総会、部会の開催 (2)車両法規改正情報の展開状況の共有 (3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4)工場見学会の実施 (5)2029年度CN目標達成に向けた活動	部会	○			○			○		○		○			△	(1)部会総会(4/23)、第1回(7/25)、第2回(10/21)、第3回(12/17)、第4回(2/10) (2)官公庁情報の会員展開 75件。意見照会 47件、法規改正等 19件、その他 9件 (3)20件の情報を会員展開 (4)日本ボーパーツ工業(株)様で講習会と部会を併催(12/17) (5)2024年度の排出量調査にて説明会を希望した会員に向け、説明会開催の案内を展開。 今年度排出量調査回答 56/80(辞退会員含まず)
2. 車両関係法規の対応 (ねらい)車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、	(1)新法規制定、法規変更内容の共有 ①R165 ②R73 ③R155/156 ④架装要領書WG ⑤基準適用日WG (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等	技術委員会			○		○		○		○		○		○	○	・R165 自動車技術総合機構から回答内容について言及があり、修正案の作成のための打ち合わせを実施 作業完了後に自動車技術総合機構に確認いただき、解説書第2版として車工会HPへの公開予定 ・R73 2/26第3回WGにて改正内容の対応確認 ・省令告示改正案に関する意見照会結果の共有 ・技術的・運用上の懸念事項の最終確認 ・改正範囲の確認 (GVW8t未満、最大積載量5t未満の普通貨物車のサイドバンパー下端高さ引き下げは、今後1年以内をめどに改正) → 懸念・要望事項等追加は無し ・R155/156 架装工事確認書を用いてCS関係以外の質問が確認された、確認書に必要な事項は網羅されている為事務局からの返信メールに念押し(定型文)の文言を入れることで当面様子見、効果が無い場合は他の対策を検討する。一方で、「架装工事ガイドライン」に記載の無い電気工事が多数があるが実情。OEMに問い合わせるまでもないと思われる電気工事もある為、次回の合同会議にてガイドラインにない工事について一定の基準に則した回答裁量を与えてほしいと再度の申し入れ予定 ・架装要領書WG 申し入れについての対応までに、一定の期間を要することから「架装要領書検討 WG」は一旦、解散 各社にて申し入れの対応状況について確認を行い、順次改善されたものについては自工会でフィードバック ・基準適用日WG WGを1/16に実施、車工会要望の取りまとめを行い自工会、自動車技術総合機構へ説明を行った 基本的な問題意識は共有できたものの、各業界ごとに視点は異なり、説明資料は装置型式指定に関する内容も含み、情報量も多いため、結論が出るまで装置指定に関する要望と誤認する可能性もあることから、最初に国交省への要望事項を持つことで、理解がより早まるのではないかと意見
3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進 品質向上。共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1)普通トラックに関する用語JABIA規格見直し ・2024年度より継続項目 (2)メンテナンスニュースの発行 ・平ボデーメンテナンスニュース(灯火器編) (3)調査研究テーマの検討 (4)技術委員会による工場見学																(2)3/13第6回技術委員会の時点では困り事に関する意見なし (1)JABIA規格V-1100(平ボデー)の安全対策 ・国交省へ相談を行った結果、ベースとなる通達を緩和するには様々な試験を行う必要がある為、現実的ではないと判断結果、緩和はせずにJABIA規格掲載の『自主基準決定(案)』は削除し、JABIA規格本文の変更は行わないこととした (2)平ボデーメンテナンスニュース(灯火器編) ・12月のトラック部会にて内容承認、3/18第6回技術委員会にて最終確認済 3/31HPへ掲載 (3)技術委員会内で論議、各委員からテーマ案について提案 (4)10月9日にNICHIGO(株)様本社工場を見学
4. 架装物の安全点検整備の推進 (ねらい)架装物の適正使用の推進 架装物安全点検制度の普及	(1)点検整備推進分科会論議内容の共有・論議 (2)その他部会固有の周知活動	推進分科会			○			○		○					○	○	(1)架装物安全点検制度運用状況報告 他社製品への貼付可を加えたガイドライン改正案審議 (2)特になし
5. 他団体との連携 (ねらい)関連団体との情報交換等 による、技術レベル/品質の向上	(1)日本陸送協会との合同研修 (2)車両運搬車の法規と安全対策 (3)その他情報共有	車両運搬車分科会	○					○								○	(1)次回車両運搬車分科会にて報告内容を論議予定 10/24第2回車両運搬車分科会開催 →陸送協会との合同研修は今年度より廃止 (2)車両運搬車の法規と安全対策 ・安全対策については、エンドユーザーに対し始業前点検の徹底を呼びかけ (3)各社の課題などの情報共有。 ・技能実習生が定着しない、人材不足が継続課題
6. 会員企業経営支援、困り事対応等 (ねらい)会員企業会員の困り事に	(1)中央業務委員会内容の共有・論議 (2)会員企業の困り事収集と対応論議 (3)会員にとって有益となる内容検討と実施項目 ①トラックの登録台数調査の継続 ②預かり車両トラブル対応 ③社員同士の交流会 ④各支局別で新規検査時に解釈が異なる問題 (4)安全衛生活動WG情報の共有 (5)中小会員ネットワーク強化WG情報の共有 (6)中小会員向け研修の展開(技能系社員研修、管理監督者研修等) (7)工場見学会の実施	業務委員会			○			○		○			○		○	○	(1)2025年度の会員支援取組み内容について論議 (2)定例会でのメーカー情報共有、困り事アンケートの実施等 (3)会員にとって有益となる内容検討と実施項目 ①2月分の登録台数データを会員展開 ②預かり車両に限らず、日常での問題点などを逐次共有していき、必要に応じて論議を行う ③中小ネットワークWGと内容が重複する為いったん見送り。2026年度は別の会員支援を計画 ④次年度も引き続き論議継続、必要に応じて中央委員会でも情報共有 (4)安全衛生活動のHP周知、法令情報アナウンス#14を3/23に会員展開 (5)製造マン勉強会の開催(1/30) (6)技能系社員研修 → 11/6～7にてトヨタ車体東日本(株)にて開催(6社12名参加) (7)今年度は実施せず

4. 部会活動報告

2025年度事業計画（バン部会）

部会長：田中理事 事務局：鶴見

◎：大幅過達(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1. 部会全体活動 (ねらい)部会内の横断的事業の展開、活動による活性化。	(1)部会総会、部会の開催 (2)車両法規改正情報の展開状況の共有 (3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4)工場見学会の実施 (5)2030年度CN目標達成に向けた活動 ・CN活動の意識向上に向けた取組み ・各社取組み事例等の情報共有 ・未着手会員へのフォロー	部会	○				○						○			○	○	(1)部会総会(4/24)、第1回(6/4)、第2回(9/3)、第3回(12/3)、第4回(3/18) (2)官公庁情報の会員展開 75件。意見照会 47件、法規改正等 19件、その他 9件 (3)20件の情報を会員展開 (4)機アィパワークス様にて開催(10/7) (5)2025年度業務委員会取組み ①業務委員長、副委員長(計3社)による改善事例発表会を12/5に開催(11社24名WEB参加) ②未着手会員(8社)へのフォローは一旦終了、2026年度は環境委員会と連携して活動推進を行う。	
			○																
2. 車両関係法規の対応 (ねらい)車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、	(1)新法規制定、法規変更内容の共有 ①R165 ②R73 ③R155/156 ④架装要領書WG ⑤基準適用日WG (2)技術的困りごとの洗出と会員支援等	技術委員会	○															○	・R165 自動車技術総合機構から回答内容について言及があり、修正案の作成のための打ち合わせを実施作業完了後に自動車技術総合機構に確認いただき、解説書第2版として車工会HPへの公開予定 ・R73 2/26第3回WGにて改正内容の対応確認 ・省令告示改正案に関する意見照会結果の共有 ・技術的・運用上の懸念事項の最終確認 ・改正範囲の確認 (GVW8t未満、最大積載量5t未満の普通貨物車のサイドバンパー下端高さ引き下げは、今後1年以内をめぐり改正) → 懸念・要望事項等追加は無し ・R155/156 架装工事確認書を用いてCS関係以外の質問が確認された、確認書に必要な事項は網羅されている為事務局からの返信メールに念押し(定型文)の文言を入れることで当面様子見、効果が無い場合は他の対策を検討する。一方で、「架装工事ガイドライン」に記載の無い電気工事が多数があるのが実情。OEMに問い合わせるまでもないと思われる電気工事もある為、次回の合同会議にてガイドラインにない工事について一定の基準に則した回答裁量を与えてほしいと再度の申し入れ予定 ・架装要領書WG 申し入れについての対応までに、一定の期間を要することから「架装要領書検討WG」は一旦、解散各社にて申し入れの対応状況について確認を行い、順次改善されたものについては自工会にフィードバック ・基準適用日WG WGを1/16に実施、車工会要望の取りまとめを行い自工会、自動車技術総合機構へ説明を行った基本的な問題意識は共有できたものの、各業界ごとに視点は異なり、説明資料は装置型式指定に関する内容も含み、情報量も多いため、結論が出るまで装置指定に関する要望と誤認する可能性もあることから、最初に国交省への要望事項を持つことで、理解がより早まるのではないかとの意見 (2)2/6第6回技術委員会の時点では困り事に関する意見なし
3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進 品質向上。共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1)バン・トラック荷台の安全対策 JABIA規格見直し ・2024年度より継続項目 (2)メンテナンスニュースの発行 ・バン型車安全輸送ニュースNo.9 (3)調査研究テーマの検討 (4)技術委員会による工場見学		項目の抽出															○	(1)JABIA規格V-1100バン・トラック荷台の安全対策 ・国交省へ相談を行った結果、ベースとなる通達を緩和するには様々な試験を行う必要がある為、現実的ではないと判断結果、緩和はせずにJABIA規格掲載の『自主基準改定(案)』は削除し、JABIA規格本文の変更は行わないこととした (2)バン型車安全輸送ニュース#9 ・部会承認済み、3/31HP展開 (3)技術委員会内で論議、各委員からテーマ案について提案 (4)川崎車両製造工場を見学(6/5)
			内容検討																
4. 架装物の安全点検整備の推進 (ねらい)架装物の適正使用の推進 架装物安全点検制度の普及	(1)点検整備推進分科会論議内容の共有・論議 (2)その他部会固有の周知活動	推進分科会																○	(1)架装物安全点検制度運用状況報告 他社製品への貼付可を加えたガイドライン改正案審議 (2)特になし
5. 他団体との連携 (ねらい)関連団体との情報交換等による、技術レベル/品質の向上	(1)日本冷凍空調工業会との合同研修 ・冷凍機器の動向、市場情報等入手	車両運搬車分科会																○	(1)日本冷凍空調工業会との意見交換会 機械振興会館会議室にて実施(11/21)
6. 会員企業経営支援、困り事対応等 (ねらい)会員企業会員の困り事に	(1)中央業務委員会内容の共有・論議 (2)会員企業の困り事収集と対応論議 (3)会員にとって有益となる内容検討と実施項目 ①バンの登録台数調査の継続 (4)安全衛生活動WG情報の共有 (5)中小会員ネットワーク強化WG情報の共有 (6)中小会員向け研修の展開(技能系社員研修、管理監督者研修等)	業務委員会																○	(1)2025年度の会員支援取組み内容について論議 (2)定例会でのメーカー情報共有、困り事アンケートの実施等 (3)会員にとって有益となる内容検討と実施項目 ①2月分の登録台数データを会員展開 (4)安全衛生活動のHP周知、法令情報アナウンス#14を3/23に会員展開 (5)製造マン勉強会の開催(1/30) (6)技能系社員研修 → 11/6～7にてトヨタ車体東日本(株)にて開催(6社13名参加)

4. 部会活動報告

2025年度事業計画（トレーラ部会）

部会長：能條理事 事務局：岩満

担当欄 技：技術委員会、サ：サービス委員会、製：製品安全小委員会、業：業務委員会、事：事務局 ○：計画、●：実施済

◎：大幅過達(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
ト 1. 部会全体活動 (ねらい)部会内の横断的事業の展開、活動による活性化。	(1) 部会総会、部会長報連相(四半期毎)の実施 (2) 車両法規改正情報の展開状況の共有 (3) リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4) 2024年問題(ドライバー不足等)や生産台数減少への対応検討 (5) 「トレーラサービスマニュアル」の改訂 (6) 工場見学会の実施 (7) 2030年度CN目標達成に向けた活動：個社活動の共有 (8) 国内登録台数情報の共有 (9) 法改正・補助金等の情報収集と共有 (10) ROC・ABS搭載車の安全有効性PR活動 (11) トレーラPR活動 プロモーション動画再生回数向上	部会	●総会			●(書面)				●臨時総会			●		●	○ (1) 総会(4/25済)、臨時総会(10/23済)、部会長報連相 (1Q:書面7/17済、3Q:1/19済、4Q:3/11済) ○ (2) 都度実施 ○ (3) 都度実施、2025年度:20件 ○ (4) 部会長報連相会で継続論議・検討 ○ (5) 3委員会(技術/サービス/業務)で改訂作業中 ⇒ 2026年度1Q完了見込み ○ (6) 日本トレクス新工場見学&トレクスドライビングスクール体験 (2/19-20済) ○ (7) 個社活動による ○ (8) 毎月提供済(但し社名・型式については非掲載)、活用実態調査の結果から2026年度以降は廃止する ○ (9) 都度実施 ○ (10) 個別都道府県トラ協研修で実施中(トラ協研修代替案検討中) ○ (11) (10)と同			
			発生年度																
			発生年度																
			サ	検討			方策実行												
			改訂作業																発行準備
			検討・調整																●
			個社活動																
			業	自販連から毎月入手し共有															
			都度																
			●																
			●																
レ 2. 車両関係法規の対応 (ねらい)車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、対応	(1) 新法規制定、法規変更内容の共有 1) R155/156 CS/SU(サイバーセキュリティ/ソフトウェアアップデート) 2) R100 電気自動車(電気パワートレイン) 3) R73 大型車側面保護(サイドガード) 4) R10-07 電波妨害抑制装置 5) トラクタ側NR装置解除対応 6) VRU-Proxi タスクフォース対応 R151 側方衝突警報装置&R158 後退時車両直後確認装置 7) R117 タイヤ単体騒音	技	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	○ (1) 技術委員会にて実施(済:5~3月、計11回) 1) CSSUコネクテッド検討WG・自工会合同検討会の内容、他 2) 分科会の内容、他 3) 作業WGの内容、他 4) 国内採用WGの内容、他 5) 全ト協連携の内容、他 6) TFの内容、他 7) 国交省及び自動車技術総合機構との調整			
			CS/SU&コネクテッド検討WG																
			JASIC衝撃吸収分科会																
			作業WG																
			国内採用WG																
			全ト協連携																
			TF																
ラ 3. 規格化/標準化/共通化/調査研究の推進 (ねらい)標準化・共通化による品質向上 共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1) JABIA規格化、ガイドライン作成等の実行 「トレーラに関する用語 C1700-2014」改正(2/2年目) (2) JABIA規格 排他的表現チェック(追加:全部会共通) (3) 国交省 官民物流標準化懇談会&革新的車両導入・標準化推進分科会	技	●	●	●	★HP公開										○ (1) 技術委員会にて作成(済:5~6月)、HP公開(7/2済) ○ (2) 技術委員会にて実施(7/31完了) → 修正:1件(C1300、データ修正済、HP公開1/6済) ○ (3) 国交省 物流政策課との調整			
			データ校正、発行																
			計画	チェック														★HP公開	
部 4. 安全点検整備の推進 (ねらい)架装物の適正使用の推進 架装物安全点検制度の普及	(1) 点検整備の必要性展開及び周知活動の継続・充実、重要性の訴求 (2) 整備業者へのトレーラ整備作業周知活動の継続：雑誌掲載 (3) トレーラ安全運行への周知活動 適正な交換部品の使用：雑誌掲載 (4) 自動車点検整備分解記録簿改訂：2013版と2018版を統合 (5) 点検整備「メーカー指定項目」トレーラ会員一覧表作成：	製	活動内容検討					活動								○ (1) 都道府県トラ協研修の代替案検討 ○ (2) 「技術情報」3月号掲載(3/1発行済) ○ (3) 「フルロード」No.59に2面広告「火災注意と予防整備」掲載(12/10発売済) ○ (4) 初版発売開始(3/2~)、JABIA SHOP公開準備中(4/上旬) ○ (5) 特定整備記録簿完成後に部会会員展開			
			掲載号検討															★	
			掲載号検討																
			データ作成															発行	
			印刷屋調整																
会 5. 中小企業経営支援、困り事対応等 (ねらい)中小企業会員の困り事に 対する支援、安全衛生/人材育成支援	(1) 部会及び中小会員の困り事収集と対応論議	業	中央業務委員会報告													○ (1) 業務委員会にて論議中(済:5月,9月,12月,2月、2026年度継続)			
			●9															●5	
6. 他団体との連携 (ねらい)関連団体との情報交換等 による、技術レベル/品質の向上	(1) 全日本及び都道府県トラック協会との連携 トレーラの安全な使用及び法改正に係わる研修会、部会連携、等 (2) 日本自動車整備振興会連合会(日整連)との連携 整備事業者向け整備作業の周知活動ツール再検討 (3) 自動車技術総合機構との連携 自動車検査官等研修(初級技術C研修)の講師：昭和飛行機工業(株) (4) 自動車基準認証国際化研究センター(JASIC)分科会参画 ブレーキ/灯火器/一般安全/衝撃吸収/騒音・タイヤ分科会、等 (5) 国交省・自工会との情報交換・部会/分科会/WG参画 大型車部会、トラクタ分科会、架装物コネクテッドWG、等 (6) 自動車技術会(JSAE)部会参画 ピークルダイナミクス部会、連結装置部会	製	●神奈川														○ (1) トラ協研修 個別対応：サービス委員会にて対応 神奈川(4/16済)、岩手(11/11済)、埼玉(1/22済)、沖縄(1/27済)、神奈川(4/15)、岡山(5/15) ○ (2) 日整連訪問(4/14済)、昨年同様に「火災注意&予防整備」啓蒙チラシを配布、10月発送済 全国の整備振興会55拠点経由で整備業者へ98,450枚(日整連11月月報に同封) ○ (3) 7月から実施(年4回予定：7/10済、8/21済、12/11済、2/5済) ○ (4) 都度参画中(状況は技術委員会にて共有中) ベトナム専門家会議にてR13解説実施(7/4済) ○ (5) 都度参画中(状況は技術委員会にて共有中) ○ (6) 都度参画中(状況は技術委員会にて共有中)		
			16 個別対応																
			●岩手																●●
			検討・調整																
			チラシ準備																●
			●10	●21															●
7. 車体NEWS (ねらい)部会担当分記事の期限内 提出と内容の充実	(1) 記事作成会員と記事内容の確認(25年度)&決定(26年度) (2) 我が社の元気人：日本車輛製造(株) (3) コーヒーブレイク：日本トレクス(株) (4) 表紙：トレーラ部会	部会	●総会														○ (1) 部会総会にて確認・決定(4/25済) ○ (2) 夏号発行(6/16済) ○ (3) 春号発行(2026/3/16済) ○ (4) 春号発行(2026/3/16済)		
			原稿作成																
			●夏号発行																原稿作成

4. 部会事業報告

2025年度事業計画（バス部会）

部会長：藤岡理事 事務局：岩満

技：技術委員会、ワ：ワンマン機器小委員会、塗：塗装デザイン研究会、業：業務委員会

○：計画、●：実施済

◎：大幅過達(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題								
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月										
<p>1. 部会全体活動 〈ねらい〉部会内の横断的事業の展開、活動による活性化。</p>	<p>(1) 部会総会、部会長報告会の実施 (2) 車両法規改正情報の展開状況の共有 (3) リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4) 異業種工場見学会の実施 (5) 2030年度CN目標達成に向けた活動 技術委員会/ワンマン合同会議で個社活動状況の共有 (6) 会員困りごと収集と対応論議(採用問題など)</p>	<p>事 ●総会 発生都度 技 発生都度 業</p>	<p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p>												<p>○ (1) 部会総会(4/16済)、部会長報告(2/24済) ○ (2) 都度実施 ○ (3) 都度実施、2025年度:20件 ○ (4) 三菱ふそうトラック・バス本社工場&JAL羽田整備場、5社20名参加 (10/16-17済) ○ (5) 各社の取組みで2024年度報告済分からの変化点を共有済 1)ジェイ・バス(5/14済)、2)三菱ふそうバス製造(6/11済)、 3)トヨタ車体(7/9済)、4)日産車体(9/10済) ○ (6) 業務委員会論議テーマ (済:6月,9月,11月,2月) 採用難については、部会共通施策に至らず個社対応とする 次年度はテーマを変え、離職防止・定着施策・バス製造業界の困りごとを中心に論議予定</p>									
			<p>2. 車両関係法規の対応 〈ねらい〉車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、対応</p>	<p>(1) 新法規制定、法規変更内容の共有 1) R165 車両後退通報装置 2) 他 (3点ベルト、チャイルドシート、幼児バスシートベルト、等)</p>	<p>技 WG参画 WG・他団体分科会参画</p>	<p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p>												<p>○ (1) 技術委員会にて実施 (済:4~3月、計12回) 1) 車工会WG内容共有と対応 2) 都度対応</p>						
						<p>3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進 〈ねらい〉標準化・共通化による品質向上。共同で調査研究することによる効率化、経費節減</p>	<p>(1) JABIA規格の改正 (棚卸2件) 1) 「バス用運賃表示器」JB1003-2020 改正 2) 「バス用乗降中表示灯」JB1008-2020 改正 3) JABIA規格 排他的表現チェック (追加:全部会共通) (2) 「バス車体規格集2026年版」発行に向けた検討 (2/3年目) 5年毎の定期見直し (3) バス車体塗色見本帳2023年版の拡販 (販売対象500冊) (4) EMC(電磁両立性)規格/ガイドライン化検討 (5) NSバス用車椅子ワンタッチ固定装置</p>	<p>ワ 技 塗 技 技</p>	<p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p>												<p>○ (1) ワンマン機器小委員会にて実施 (済:4~3月、計12回) 1) 最終データ完成、HP公開(3/6済) 2) 最終データ完成、HP公開(3/6済) 3) 技術委員会/ワンマン機器小委員会にて実行 (8/29完了) ○ (2) 技術委員会にて実施 (済:4~3月、計13回) バス協連携: アンケート(4/30済)、幹事会回答(9/4済)、改定案提示(12/18済、3/24済) 販売実績(冊) 累計:224/240 (自工会やバス協会への無料配布分110冊は外数) 21~23年度:188、24年度:16、25年度:20 (1Q:7, 2Q:7, 3Q:1, 4Q:5) ○ (3) 販売実績(冊) 累計:190/500 23年度:57、24年度:84、25年度:49 (1Q:12, 2Q:12, 3Q:8, 4Q:17) - (4) 次年度合同会議論議テーマとする - (5) バス車体規格集2026年版の巻末付録「参考資料13」として追加する</p>			
			<p>4. 安全点検整備の推進</p>	<p>— (バス部会該当せず)</p>																				
			<p>5. 中小企業経営支援、困り事対応等 〈ねらい〉中小企業会員の困り事に 対する支援、安全衛生/人材育成支援</p>	<p>(1) 塗装技術者向け勉強会: 関西ペイント(株) ARC西日本@兵庫県尼崎市</p>	<p>塗</p>				<p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p>													<p>○ (1) 13社13名参加、全員による塗装実習とVR塗装体験を実施(11/27済)</p>		
									<p>6. 他団体との連携 〈ねらい〉関連団体との情報交換等による、技術レベル/品質の向上</p>	<p>(1) 自工会バス分科会参画 1) 次期ノンステップバス標準仕様の検討、計画 報告書の共有 2) 車外カメラモニターシステム(CMS)の研究 (3/4年目) 3) 新規研究課題 (2) 関連団体(JASIC/JSAE/バス協会等)活動への参画 1) 一般安全分科会 (GRSG) 2) 衝撃吸収分科会 (GRSP) 3) 3点式ベルト対応 (3SBBC) 4) チャイルドシート対応 (STCBC) 5) VRU-Proxi TF 6) 日本バス協会 中央技術委員会 バス改善要望全国会議(8月)、幹事会(9月、3月) 全国大会(10月)</p>	<p>技 ワ 分科会・WG参画</p>	<p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p>												<p>○ (1) バス分科会参画中 (済:4~3月、計11回) 1) 大型車部会審議後、展開予定 2) 2025年度研究内容の共有 3) 臨時バス分科会にて集中討議予定 ○ (2) 1) 都度参画中 (状況は技術委員会にて共有中) 2) 都度参画中 (状況は技術委員会にて共有中) 3) 都度参画中 (状況は技術委員会にて共有中) 4) 都度参画中 (状況は技術委員会にて共有中) 5) 都度参画中 (状況は技術委員会にて共有中) 6) バス改善要望会議(8/27済): 技術講演(バス車体規格集&CUD・降車用押しボタン) 幹事会(9/4済): バス車体規格集に関するバス協会アンケートへの回答 全国大会&商品展示会(10/30済): 古川委員長(来賓招待) 幹事会事前打合せ(12/18済): バス車体規格集バス協会要望への改定案提案、他 幹事会#2(3/24済): バス車体規格集改定案をバス協会へ提示・説明</p>
			<p>7. 車体NEWS 〈ねらい〉部会担当分記事の期限内 提出と内容の充実</p>	<p>(1) 記事作成会員と記事内容の確認(25年度)&決定(26年度) (2) 我が社の元気人: 日産車体(株) (3) コーヒーブレイク: ジェイ・バス(株)</p>	<p>部 会</p>							<p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>● 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p>												

4. 部会活動計画
2025年度事業計画(小型部会)

部会長：松尾理事 事務局：松本

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上)
△:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2024年度												評価	実績			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1. 部会全体活動 (ねらい) 部会内の横断的事業の展開・活動による部会&車工会の活性化	(1)部会総会の実施	部会	○														○	(1)部会総会を実施(4/17 5社15名参加)	
	(2)車両法規改正情報の展開状況の共有																		(3)随時展開
	(3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動																		(4)吉原工場(ランクル製造)+使われ方/車を鍛えるを学ぶ
	(4)工場見学会の実施@トヨタ車体(11/14)																		・11/14に5社14名参加で開催 ・女性エンジニア育成施策として5社5名参加
(5)2030年度CN目標達成に向けた活動 訪問支援活動 支援メンバーの派遣																	(5)環境委員会と連携し推進		
2. 車両関係法規の対応	- (小型部会該当せず)																		
3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進	- (小型部会該当せず)																		
4. 架装物の安全点検整備の推進	- (小型部会該当せず)																		
5. 中小企業経営支援、困り事対応等 (ねらい) 中小企業会員の困り事に対する支援、安全衛生/人材育成支援	(1)中央業務委員会内容の共有・論議	部会															○	(3)随時展開	
	(2)中小会員の困り事収集と対応論議																		
(3)安全衛生活動WG情報の共有																	(5)トヨタ自動車東日本にて開催予定		
(4)中小会員ネットワーク強化WG情報の共有																	・11/6-7で開催(6社12名参加)		
(5)中小会員向け研修の展開(技能系社員研修、管理監督者研修等) 技能系社員研修の受入れ (トヨタ東日本)																	・従来コンテンツに加えて技能別交流会を初開催		
6. 他団体との連携	- (小型部会該当せず)																		
7. 部会固有活動 (ねらい) 異業種の取組みを学び、自社事業への参考とする 会員間で相互を学び、自社事業への参考とする	(1)異業種訪問の実施@伊那食品工業(9/17) ※各社課題 (SDGs、CN、地域貢献、経営施策) をキーワードに選定	技術・経企															○	(1)伊那食品の経営手法である「年輪経営」を学ぶ	
	(2)技術委員会 技術ワイガヤ会の開催(委員対象) 若手エンジニア技術交流会の開催(各社の従業員対象)	技術																(2) ワイガヤ ・5社5名参加で開催(4/21,8/21) ・エンジニア育成施策実施(10/1,11/27) エンジニア育成 ・事前顔合わせミーティング実施(8/21 5社5名) ・要望集約ミーティング実施(10/1 5社5名参加) ・会員工場視察@トヨタ車体に参画(11/14 5社5名参加) ・視察後気づき共有会開催(11/27 5社5名参加)	
	(3)経営企画部門委員会 経営課題ワイガヤの開催(委員対象)	経企																(3) 各社の経営課題&施策のワイガヤ日程調整済(2/5)	

4. 部会活動実績

2025年度事業報告（資材部会）

部会長：市橋理事 副部会長：川名理事 事務局：信澤

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1. 部会全体活動 〈ねらい〉部会内の横断的事業の展開、活動による活性化。	(1)部会総会、部会、部会長報告会 等の実施	部会	○														(1)総会を開催(4/25 56社 75名出席 委任状 21社) (2)都度、会員間情報共有 (3)都度、会員間情報共有 (4)役員会にて企画検討(6/3)、役員会を開催予定 (2/13) (5)エネルギー調査のフォロー 回答 22社/24社 92% (6)役員会を開催(6/3)、(2/13) (7)第一分科会：研修会実施 (9/26) 第二分科会：10月に実施(10/17) (8)委員会を開催 (7/1、2/4) 60年史記念サイトを制作 HPへ掲載	
	(2)車両法規改正情報の展開状況の共有																	
	(3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動																	
	(4)工場見学会の実施																	
	(5)2030年度CN目標達成に向けた活動																	
	(6)役員会の開催（年2回予定 上期、下期）																	
	(7)分科会活動の推進（第一分科会、第二分科会）																	
	(8)部会60周年事業の実施 /海外視察の計画																	
2. 車両関係法規の対応 〈ねらい〉車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、対応	(1)新法規制定、法規変更内容の共有 ECE対応への取組 ・R158-後退時車両直後確認装置 ・R165-車両後退通報装置	各グループ															(1)会員間での情報共有 (2)技術塗装者向け勉強会 講師を担当 (11/27 関西イベント)	
	(2)技術的困りごとの洗い出しと会員支援等 車体塗装の技術・技能向上への参画（塗装技術者向け勉強会）																	
3. 規格化・標準化・共通化・調査研究 の推進 〈ねらい〉標準化・共通化による品質向上。共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1)JABIA規格化、ガイドライン作成等の実行 バス部会等他部会との協力 ・中央技術委員会エントリー項目の推進 ・JABIA規格棚卸し：JABIA規格制定、改定への参画 ・部会内活動	各グループ															(1)部会委員が参画 ・技術発表会に参画 (3/18) (2社：Earth Power、東海理化) (2)・フィルムグループ：アンケート結果、海外貼付報告等を踏まえて国土交通省と意見交換を実施 (10/30) ・会員会社向けアンケート実施：7月～8月 回答会社68社	
	(2)調査研究テーマの検討、推進 フィルムグループ：安全対応として再帰反射材貼付効果の検証																	
4. 安全点検整備の推進 〈ねらい〉架装物の適正使用の推進 架装物安全点検制度の普及	(1)難燃性JABIA素材登録の適切な運用 ・難燃性試験実態調査の実施推進	役員会															(1)難燃性試験実態長委員会を開催 (7/17) 実態調査の計画→2025年度は3社実施 (10/16、12/9、3/6)	
	(2)その他部会固有の周知活動																	
5. 環境への取組み 〈ねらい〉環境にやさしい車体作りの促進。	(1)環境リサイクルへの取組事例	役員会															(1)部会会員会社として事例を収集、機関紙を活用して情報共有	
	(2)VOC排出量調査状況の共有																	
6. 中小企業経営支援、困り事対応等 〈ねらい〉中小企業会員の困り事に 対する支援、安全衛生/人材育成支援	(1)部会会員の会社、製品、技術の情報発信（機関誌、WEBの活用）	役員会															(1)機関紙を活用 会員紹介 2025年度8社(6月、9月、12月、3月) 会員からの機関紙への積極的な投稿 (3)部会としての講演会を実施：(4/25 社 80名) テーマ：「自動車産業の展望～2024年の振り返りと2025年の業界動向～」 講師：中西 孝樹 氏（アナリスト）	
	(2)中小会員の困り事収集と対応論議 (3)中小会員向け研修の検討																	
7. 他団体との連携 〈ねらい〉関連団体との情報交換等 による、技術レベル/品質の向上	JSAE、JASIC、国交省 等	委員長・事務局															委員を各団体に参画し、活動内容を都度報告(4/25) 委員を各団体に参画し、活動内容を都度報告(4/25)	
	(1)自動車技術会 車室内VOC測定分科会 (2)基準認証国際化センター(JASIC)灯火器分科会																	

4.部会活動報告

2025年度部会員数（2026.3.31現在）

部会	部会員数	入会	退会
特装	48	吉谷機械製作所（7月） マルマテクニカ（10月）	なし
特種	63	(株)ナッツ（7月）	光源舎オートプロダクツ(株)（3月）
トラック	79	協和自工(株)・(有)房総車体（10月）	(株)エフテック(2月)
バン	27	なし	なし
トレーラ	15	なし	なし
バス	4	なし	なし
小型	5	なし	なし
資材	108	(株)ミラージャパン(7月) モビロティエナジーサーキュレーション(7月) 安全自動車株式会社(10月) 株式会社ノルメカエイシア(10月) Hyundai Mobility Japan株式会社(3月)	日本ピストンリング株式会社(10月) ZFジャパン株式会社(3月) 日本特殊塗料株式会社(3月) リリカラ株式会社(3月)

5. 支部活動報告

5.支部活動報告

5-1 支部活動まとめ

		北海道	東北	新潟	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
支部総会		4月24日 札幌東急REIホテル	4月22日 江陽グランドホテル	4月18日 万代シバニホテル	4月15日 芝パークホテル	4月17日 名鉄グランドホテル	4月25日 ホテルグランドイア京都	5月16日 ANAクラウンプラザ ホテル広島	4月25日 リーガホテルベスト 高松	4月23日 八仙閣本店
役員会		3回 部会・総会等検討	1回 事業計画等検討	1回 事業計画等検討	3回 事業計画等検討 支部在り方検討	6回 内 企画会議5回	2回 事業計画等検討	3回 事業計画等検討	1回 事業計画等検討	3回 事業計画等検討
安全	不正改造 排除活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境	CN本部情報 展開	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	CN勉強会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	PL保険 加入促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	各種研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	他	合同部会	工場見学会	支部会員大会 見学会	県会内査察 見学会	見学会 秋季研修会	3部会・各3回 1部会・2回 見学会	説明会 見学会	見学会	合同3部会 営業担当地区会

5-2. 支部活動実績一覧

2025年度事業計画(支部連絡会 & 各支部活動)

議長: 鈴木理幸 副議長: 佐理幸 事務局: 小森、松本、内藤

◎: 大幅超過(120%以上) ○: 計画通り(100%以上) △: 若干未達(60%以上) ×: 未達(60%以下) -: 評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2025年度												評価	実績 及び 課題	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
支1. 支部活動の充実化	連絡会開催予定: 3回/年	支部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	支部連絡会 #1 (6/26) #2 (10/7) #3 (12/17) #4 (3/10) 見学会会フェニクス工場 (10/7)
	(1)各支部事業計画の共有化 ①支部の事業計画進捗状況報告 ②支部活動での課題、問題点の解決策協議	支部		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	事業計画の実績報告(8/29)(10/7)(12/17)(3/10) 支部活動での課題、問題点の協議(いんど活動)(3/10)
	(2)本部との情報共有、CNの理解促進 ①単体業務動向/本部CN活動の方向性共有 ②支部連絡会の進め方共有	支部														○	本部から単体業務の動き等バックス、CNの方向性情報共有 #1 (6/26) #2 (10/7) #3 (12/17) #4 (3/10)
	(3)支部連絡会の進め方共有	支部														○	支部連絡会の進め方共有(6/26)(10/7)(3/10)
結 2. 支部間相互や本部との連携強化	(1)支部情報のタイムリーな本部への連絡報告 ① 予実算等	支部														○	決算各支部に提出依頼 1/4期(6/26) 2/4期(9/22) 3/4期(12/9) 4/4期(3/10)
	② 総会日程	支部														○	各支部総会日程届出依頼(10/7)、支部総会日程報告(12/17)(3/10)
	(2)本部活動補助金の会計報告の実施 ①報告方法と次年度補助金額の見直し	支部														○	4月1日時点の各支部会員状況から補助金届出(支部へ確認依頼(6/末) 補助金各支部へ配属(7月末)
	(3)現場、CN対応	支部														○	
各 1. 北海道	(1)支部総会、役員会等の実施 ・総会(4/24)札幌東区Rホテル ・役員会(年3回)事業計画、活動検討	支部														○	(1)支部総会(4/24)、役員会(7/2)(9/10)(2/4) 「規約」の変更を検討、地方会費入承認。 26年度事業計画検討、規約改定を役員会で決定。
	(2)安全対応 不正改進黨除運動告知活動	支部														○	(2)「関文書、日産連より送られたチラシ」を会員に送付し、送付の実施呼びかけ -5月に送付したポスターの掲示状況の確認(札幌北沢支部に立ち寄り確認、取組めについて説明)
	(3)現場、CN対応 本部情報提供、工場見学、勉強会実施	支部														○	(3)本部「工場環境科」より現場支援活動実施(北海道身体)勉強会・意見交換(11/20)
	(4)その他 ・合同部会開催(9月)・年末懇親会開催(11月)	支部														○	(4)合同部会開催 -部連実行許可について相談、会計システム見直し。
	(1)支部総会、役員会等の実施 総会(4/22)江刺グランドホテル 役員会(3月)事業計画、活動検討	支部														○	(1)総会(4/22)江刺グランドホテル 3/13 役員会
	(2)安全対応 不正改進黨除運動告知活動	支部														○	(2)不正改進黨除運動告知活動 自動車の点検整備運動ポスターチラシ配布
	(3)現場、CN対応 本部情報提供、工場見学、勉強会実施	支部														○	(3)工場見学(9/19) 部内研修 CN勉強会 3/13 トヨタ自動車日本(株)
	(4)その他 回送運行許可対応、PL保険加入促進	支部														○	(4)
	(1)支部総会、役員会等の実施 総会(4/18)万代ホテル-ホテル 委員会(10月)役員会(3月)事業計画、活動検討	支部														○	(1)支部総会開催(4/18)、研修会開催(7/16) 債権集計; 長野 会員大会開催(10/9) 役員会(3/6)
	(2)安全対応 不正改進黨除運動告知活動、点検整備運動	支部														○	(2)不正改進黨除運動告知活動(5/27) 不正改進黨除*19+19配布(6月) 自動車の点検整備運動ポスターチラシ配布(9-10月)
	(3)現場、CN対応 本部情報提供	支部														○	(3)
	(4)その他 回送運行許可対応、PL保険加入促進	支部														○	(4)地方行政との懇談会、説明会開催(4/18)
支3. 新潟	(1)支部総会、役員会等の実施 総会(4/14)芝パークホテル 役員会(年2回)事業計画、活動検討	支部														○	(1)支部総会開催(4/15) 芝パークホテル併用 3社47名 役員会(9/4)及び工場見学会(小松マール) 開催、支部の在り方議論 役員会(11/7)工場見学の在り方議論、議案決定を決定、(2/25)支部総会の在り方議論
	(2)安全対応 不正改進黨除運動告知活動、研修会実施	支部														○	(2)不正改進黨除運動告知活動(6月)、場会での研修会実施(神田川、支城、群馬、山梨、千葉) 自動車の点検整備運動ポスターチラシ配布(8-9月)
	(3)現場、CN対応 本部情報提供、工場見学、勉強会実施	支部														○	(3)CN勉強会実施(9/19)工場見学(9/19) 部内研修 [改善工場] 新潟(11/7)各支部へ依頼
	(4)その他 回送運行許可対応、PL保険加入促進	支部														○	(4)回送運行許可対応: 1件 場会内査察(会場: 6月、栃木、東京) 部員 品川運輸局見学(11月)
	(1)支部総会、役員会等の実施 役員会(4/7)、通常総会(4/17)名鉄グランドホテル 企画会議(5回/年)事業計画、活動検討	支部														○	(1)支部総会開催(4/17)名鉄グランドホテル -役員会(4/7)、企画会議(5/15、7/3、9/11、12/4、3/16) 新規会員加入承認 -チラシ部会(2回)、中部Cン部会(2回)、研修会(1回)
	(2)安全対応 不正改進黨除運動告知活動のための資料配布	支部														○	(2)不正改進黨除運動告知活動のための資料配布/活動実施内容のフォロー 自動車の点検整備運動のための資料配布
	(3)現場、CN対応 工場見学、勉強会実施	支部														○	(3)トヨタ研修会(他)工場見学、CN勉強会(12/10)
	(4)その他 秋季研修会(10~11月計画) 回送運行許可対応(更新申請)、コンプライアンス展開	支部														○	(4)秋季研修会(9/24-25) 直前研修、トヨタR&Dセンター、パナソニック-ジウム見学 回送運行許可更新及び再確認の更新申請(52社) 回送運行許可の更新申請(52社) 中部運輸局との情報連携
	(1)支部総会、役員会等の実施 総会 4月25日 ホテルグランドヴィア京都 役員会 3月 (事業計画、活動検討等)	支部														○	(1)支部総会開催(4/25) ホテルグランドヴィア京都 役員会(8/26、3/13)
	(2)安全対応 不正改進黨除運動告知活動、(講習会参加)	支部														○	(2)京都府環境局による不正改進黨講習会C参加(6/5) 兵庫自販連WEBにて展開
	(3)現場、CN対応 本部情報提供、工場見学、勉強会等を実施	支部														○	(3)研修会(10/17) シイバ/2小松工場 製造部会(C/N勉強会)(7/18) アルナ分野特種工場見学、現場への取組について -各支部で本部会費がCNにおいて取組んでいる事務報告を展開
	(4)その他 部会を開催(3回) 回送運行に関する支援	支部														○	(4)トラック、PCN部会-特種、PCN部会(6/13、11/18、2/24)、特種部会(6/11、11/19、2/20)、 トレー部会(6/16、2/25) サイバーセキュリティ対応法規、会員課題、行政書士法改定等情報共有
7. 中国	(1)支部総会、役員会等の実施 総会(6/16 ANAホテル 39 新館) 役員会(年3回)	支部														○	(1)支部総会ANAホテル 39 新館(5/16) 役員会(10/21、12/9、3/12)
	(2)安全対応 不正改進黨除運動	支部														○	(2)不正改進黨除運動の*19+19送付(6月)
	(3)現場、CN対応 本部情報提供、CN説明会の開催	支部														○	(3)
	(4)その他 会費支援(研修会)部会の開催	支部														○	(4)秋季研修会(9/25-26)南村三田工場 +PL保険、その他保険の加入促進
8. 四国	(1)支部総会、役員会等の実施 支部総会/役員会(4/25)リファネステス福松	支部														○	(1)支部総会(4/25)リファネステス福松、役員会(4/25) 新規会員加入承認
	(2)安全対応 不正改進黨除運動研修会実施(6/13)、情報展開	支部														○	(2)不正改進黨除運動研修会(6/13)
	(3)現場、CN対応 本部情報提供、講習会実施、秋季研修会	支部														○	(3)「コンプライアンスの重要性」に関する情報共有(6/13) 秋季研修会: 高知の兼松エシエンツ(株)工場見学、CN勉強会実施(11/21)
	(4)その他 PL保険加入促進/支部会員加入促進、その他情報展開	支部														○	(4)PL保険加入に関する情報発信 -部連に合わせたコンプライアンス規程、その他特許法に係る情報共有(8/19、9/2)
9. 九州	(1)支部総会、役員会等の実施 総会(4/17/山崎)、役員会(年3回)、情報交換会、D4Cの業務相談	支部														○	(1)総会(4/23)、役員会(4/8)(8/27)(2/26) 活動実施状況・収支状況年度・事業計画案 D4Cの業務相談(2/2)
	(2)安全対応 不正改進黨除運動告知活動、情報提供、 従来物の交換整備運動	支部														○	(2)不正改進黨除運動*19+19送付(5/19)
	(3)現場、CN対応 本部情報提供、勉強会&工場見学会、 講習会/PL取得への支援	支部														○	(3)回送運行許可研修会 CN勉強会-高松車体技術見学会(7/8)
	(4)その他 合同3部会、営業担当赴任地区、情報交換会	支部														○	(4)合同3部会(4/3) 豊後製鉄交換会(1/5)

2025年度 決算書

自 2025年4月1日
至 2026年3月31日

2026年5月22日
一般社団法人 日本自動車車体工業会

収支計算書

自：2025年4月1日
至：2026年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
当期収入計 A	184,414,344	185,429,031	△ 1,014,687	
正会員会費収入	121,328,500	122,447,465	△ 1,118,965	
準会員会費収入	5,136,000	5,240,000	△ 104,000	
部会会費収入	20,115,000	20,841,500	△ 726,500	
支部会費収入	8,940,000	8,591,000	349,000	
負担金収入	16,546,100	13,352,482	3,193,618	
雑収入	2,001,744	2,647,079	△ 645,335	
本部負担金	9,647,000	9,650,000	△ 3,000	
繰入金収入	0	1,734,955	△ 1,734,955	
収益事業収入	700,000	924,550	△ 224,550	
前期繰越収支差額 B	99,782,482	99,782,482	0	
収入合計 C (A+B)	284,196,826	285,211,513	△ 1,014,687	

(支出の部)

科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費計 D	148,050,052	115,077,440	32,972,612	
環境対策事業費	13,426,234	10,250,702	3,175,532	
安全対策事業費	14,394,567	11,945,287	2,449,280	
会員支援事業費	16,049,458	11,209,084	4,840,374	
広報事業費	14,516,179	12,280,821	2,235,358	
部会事業費	52,955,331	41,215,102	11,740,229	
支部事業費	22,437,183	16,275,616	6,161,567	
本部負担金	6,542,000	6,542,000	0	
県会事務費	640,000	640,000	0	
負担金支出	6,389,100	3,849,728	2,539,372	
収益事業費	700,000	869,100	△ 169,100	

(支出の部2)

科目	予算額	決算額	差異	備考
管理費計 E	53,062,632	44,805,564	8,257,068	
負担金	5,604,800	5,349,000	255,800	
会議費	950,000	562,821	387,179	
印刷製本費	190,200	48,392	141,808	
旅費交通費	1,110,000	451,101	658,899	
通信運搬費	1,204,200	717,957	486,243	
消耗品費	310,000	271,401	38,599	
借室費	6,298,790	5,915,335	383,455	
賃借料	1,157,930	738,587	419,343	
ソフトウェア	909,600	688,920	220,680	
総会費・大会費	9,500,000	7,544,579	1,955,421	
租税公課	1,000,000	1,425,400	△ 425,400	
雑費	1,770,000	1,246,173	523,827	
人件費	23,057,112	19,845,898	3,211,214	
小計 F (D+E)	201,112,684	159,883,004	41,229,680	
積立金計 G	6,450,000	6,450,148	△ 148	
退職金準備金	2,200,000	2,200,148	△ 148	
特定プロジェクト準備金	4,000,000	4,000,000	0	
備品更新準備金	250,000	250,000	0	
次期繰越収支差額 H (C-F-G)	76,634,142	118,878,361	△ 42,244,219	
当期支出計 I (F+G+H)	284,196,826	285,211,513	148	
積立金計 J	9,200,000	8,343,602	856,398	
特定プロジェクト支出	9,200,000	8,343,602	856,398	

収益事業収支報告

自：2025年4月1日

至：2026年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

科目	摘要	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業収入	2023年度版バス車体用塗色見本帳 2021年度版バス車体規格集、他	700,000	924,550	△ 224,550	

※売上内訳	個数	合計	販価10%
(規格集) 一律	20	70,400	@3,520
(見本帳) バス会員	0	0	@13,860
会員	3	44,550	@14,850
一般	46	809,600	@17,600
	49	854,150	
	合計	924,550	

(支出の部)

科目	摘要	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業経費					
	(1) 材料費	580,000	749,100	△ 169,100	
	(2) 消耗品費	0	0	0	
	(3) 人件費	120,000	120,000	0	
	(4) 準備金	0	0	0	
	計	700,000	869,100	△ 169,100	

繰越金		55,450	
-----	--	--------	--

貸借対照表

2026年3月31日現在

(流動資産)

(単位：円)

普通預金	4,111,096
未収金	55,440
2021年度版バス規格集在庫	55,748
2023年度版バス車体用塗色見本帳在庫	4,290,688
バス車体塗色見本帳等作成準備金	120,000
小計	8,632,972

(流動負債)

バス車体塗色見本帳等作成引当金	120,000
小計	120,000
期末資産	計 8,512,972

正味財産増減計算書

2026年3月31日現在

(単位：円)

科目	2025年度	2024年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	157,119,965	148,457,710	8,662,255
② 受取負担金	13,352,482	6,812,893	6,539,589
③ 雑収益	2,647,079	2,352,777	294,302
④ 事業収益	924,550	2,318,695	△ 1,394,145
⑤ 繰入金収入	1,734,955	4,331,891	△ 2,596,936
経常収益計	175,779,031	164,273,966	11,505,065
(2) 経常費用			
⑥ 事業費	106,239,527	119,403,993	△ 13,164,466
給与手当	40,005,116	38,972,808	1,032,308
福利厚生費	5,614,260	5,702,097	△ 87,837
旅費交通費	4,732,273	6,695,171	△ 1,962,898
通信運搬費	659,545	1,031,636	△ 372,091
減価償却費	342,183	375,595	△ 33,412
会議費	957,517	5,323,782	△ 4,366,265
印刷費	1,403,651	2,225,447	△ 821,796
借室費	16,855,558	14,490,348	2,365,210
ソフトウェア	469,904	0	469,904
賃借料	370,728	1,936,731	△ 1,566,003
材料費	749,100	1,220,208	△ 471,108
委託費	9,141,812	8,373,857	767,955
消耗品費	371,098	72,956	298,142
調査費	4,999,038	5,335,899	△ 336,861
研修会費	6,181,524	11,928,483	△ 5,746,959
総会費	7,588,589	6,128,136	1,460,453
図書費	330,210	22,990	307,220
地方分担金	640,000	150,000	490,000
事務費	0	5,642,514	△ 5,642,514
雑費	977,693	1,257,085	△ 279,392
⑦ 負担金支出	3,849,728	2,518,250	1,331,478
⑧ 管理費	55,038,404	48,415,706	6,622,698
給与手当	17,239,705	18,032,710	△ 793,005
福利厚生費	2,606,193	2,646,507	△ 40,314
関係団体等渉外費	5,349,000	5,290,884	58,116
借室費	5,915,335	6,441,060	△ 525,725
総会費	7,544,579	8,804,536	△ 1,259,957
会議費	562,821	370,779	192,042
印刷費	48,392	97,715	△ 49,323
交通費	451,101	1,462,182	△ 1,011,081
通信費	717,957	730,155	△ 12,198
賃借料	738,587	882,185	△ 143,598
ソフトウェア	219,016		
消耗品費	271,401	304,172	△ 32,771
租税公課	1,425,400	618,700	806,700
支払負担金		0	0
雑費	1,246,173	1,417,396	△ 171,223
減価償却費	158,994	174,325	△ 15,331
退職金準備金	2,200,148	200,000	2,000,148
バス車体塗色見本帳等準備金		120,000	△ 120,000
特定プロジェクト支出	8,343,602	822,400	7,521,202
経常費用計	161,277,931	167,819,699	△ 6,541,768
当期経常増減額	14,501,100	△ 3,545,733	18,046,833
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
(2) 経常外費用			0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	14,501,100	△ 3,545,733	18,046,833
一般正味財産期首残高	202,778,454	206,324,187	△ 3,545,733
一般正味財産期末残高	217,279,554	202,778,454	14,501,100
II. 正味財産期末残高	217,279,554	202,778,454	14,501,100

貸借対照表

2026年3月31日現在

(単位：円)

科目	2025年度	2024年度	増減
I.資産の部			
1.流動資産			
現金	1,889,516	954,495	935,021
預金	128,704,857	108,465,497	20,239,360
未収入金	66,540	83,532	△ 16,992
仮払金	2,518,510	736,780	1,781,730
在庫	4,346,436	5,095,536	△ 749,100
流動資産計	137,525,859	115,335,840	22,190,019
2.固定資産			
(1)特定資産			
退職給与準備積立金	9,707,148	9,079,228	627,920
特定プロジェクト準備金	19,634,077	23,977,679	△ 4,343,602
備品更新積立金	8,400,358	8,150,358	250,000
財務安定準備金	45,000,000	45,000,000	0
バス車体塗色見本帳等準備金	0	0	0
5団体連携事業準備金	0	0	0
特定資産計	82,741,583	86,207,265	△ 3,465,682
(2)その他の固定資産			
什器備品	766,358	1,267,535	△ 501,177
電話加入権	30,300	30,300	0
差入保証金	16,086,816	16,086,816	0
その他の固定資産計	16,883,474	17,384,651	△ 501,177
固定資産計	99,625,057	103,591,916	△ 3,966,859
資産合計	237,150,916	218,927,756	18,223,160
II.負債の部			
1.流動負債			
未払金	634,192	91,442	542,750
未払消費税	746,200	485,500	260,700
預り金	8,663,822	6,373,132	2,290,690
流動負債計	10,044,214	6,950,074	3,094,140
2.固定負債			
退職給与引当金	9,707,148	9,079,228	627,920
特定プロジェクト引当金	120,000	120,000	0
固定負債計	9,827,148	9,199,228	627,920
負債合計	19,871,362	16,149,302	3,722,060
III.正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	217,279,554	202,778,454	14,501,100
負債及び正味財産合計	237,150,916	218,927,756	18,223,160

財産目録

2026年3月31日現在

(単位：円)

1. 資産の部

1) 流動資産

・現金	一般会計	<u>1,889,516</u>
	一般会計	<u>200,000</u>
	支部	<u>1,689,516</u>
	新潟	9,492
	中国	1,675,749
	四国	4,040
	九州	235
・銀行預金		<u>128,704,857</u>
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	一般会計	52,352,768
普通預金 三菱UFJ銀行 丸の内支店	一般会計	28,811,732
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	収益事業	4,111,096
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	特装部会	5,912,707
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	特種部会	2,759,884
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	トラック部会	2,590,467
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	バン部会	419,736
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	トレーラ部会	1,582,834
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	バス部会	1,923,766
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	小型部会	845,358
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	資材部会	4,315,339
普通預金 北洋銀行東苗穂支店	北海道	2,005,292
普通預金 七十七銀行東卸支店	東北	2,628,844
普通預金 第四北越銀行出来島支店	新潟	1,285,935
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	関東	1,883,964
普通預金 三菱UFJ銀行 竜子支店	中部	2,846,420
普通預金 京都銀行 九条支店	近畿	4,386,997
普通預金 広島信用金庫 観音支店	中国	1,215,037
普通預金 百十四銀行本店営業部	四国	2,851,691
普通預金 福岡銀行住吉支店	九州	3,974,990
・未収入金		<u>66,540</u>
・仮払金		<u>2,518,510</u>
・期末在庫		<u>4,346,436</u>
2021年度版バス車体規格集	収益事業	<u>55,748</u>
2023年度版バス車体用塗色見本帳	収益事業	<u>4,290,688</u>
	流動資産計	<u>137,525,859</u>

2) 固定資産

(1) 特定資産

・退職給与準備積立金			<u>9,707,148</u>
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店			9,307,000
普通預金 三菱UFJ銀行 竜子支店	中部		400,148
・特定プロジェクト外準備積立金			<u>19,634,077</u>
普通預金 三井住友銀行 丸ノ内支店			16,514,077
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店	収益事業		120,000
		中部支部	1,000,000
定期預金 福岡銀行住吉支店		九州支部	2,000,000
・備品更新積立金			<u>8,400,358</u>
普通預金 みずほ銀行 丸之内支店			8,400,358
・財務安定準備金			<u>45,000,000</u>
定期預金 三菱UFJ銀行 丸の内支店			45,000,000
		特定資産計	<u>82,741,583</u>

(2) その他の固定資産

・什器備品			<u>766,358</u>
電話加入権			<u>30,300</u>
・差入保証金			<u>16,086,816</u>
		その他の固定資産	<u>16,883,474</u>

資産合計 237,150,916

2. 負債の部

3) 流動負債

・未払金			<u>634,192</u>
・未払消費税			<u>746,200</u>
・預り金			<u>8,663,822</u>
		流動負債計	<u>10,044,214</u>

4) 固定負債

・退職給与引当金			<u>9,707,148</u>
・特定プロジェクト引当金			<u>120,000</u>
		固定負債計	<u>9,827,148</u>

負債合計 19,871,362

差引正味財産 217,279,554

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

工業会の重要な会計方針および収支計算書における資金の範囲は、次に掲げるとおりとする。

(1) 棚卸資産の評価基準および評価方法

棚卸資産……移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定率法による

無形固定資産……定率法による

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金……

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上する。

退職給付引当金……

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上する。なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算する。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引……

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

(5) 税効果会計の通知

税引前の当期一般正味財産増減額と法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適切な当期正味財産増減額を計上することを目的として税効果会計を適用する。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

(7) 収支計算書における資金の範囲

資金の範囲は、現金預金、短期債権債務（未収会費、未収入金、仮払金、未払金、預り金、および短期借入金等）および、これらに準ずる流動資産、流動負債とする。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期減少額	当期増加額	当期末残高
退職給与引当金	9,079,228	1,572,228	2,200,148	9,707,148
特定プロジェクト準備金	23,977,679	8,343,602	4,000,000	19,634,077
備品更新積立金	8,150,358		250,000	8,400,358
財務安定準備金	45,000,000	0	0	45,000,000
合計	86,207,265	9,915,830	6,450,148	82,741,583

監査報告書

一般社団法人日本自動車車体工業会

会長 富山 隆 殿

2026年4月22日

一般社団法人日本自動車車体工業会

監事 森 茂

監事 田村 元

監事 小澤 賢記

私どもは、2025年4月1日から2026年3月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を確認しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、関係書類など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を確認しました。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認めます。

以 上